

SCOUTING

NO.633 2006/2

Scout Association of Japan www.scout.or.jp

平成18年2月1日発行 毎月1回1日発行 第633号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

スカウティング



- 速報! アジア太平洋地域スカウトジャンボリー
- 18年度トレーニングコース開設予定一覧
- ステップアップ100運動 ホップ賞 全国で続々達成中!



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

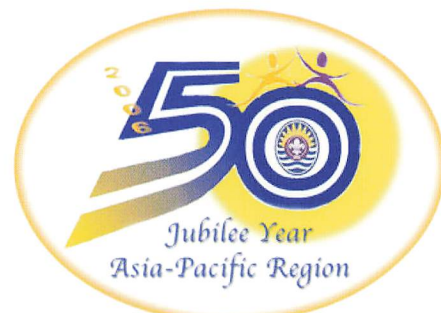
速報

第25回アジア太平洋地域

25th Asia-Pacific Region

25th Asia-Pacific Region

テーマ Road



APR50周年のマーク

■主な日程

12月28日(水) 午後:開会式

31日(土) 夜:ニューイヤーパーティー

1月 1日(日) 夕方から夜:シーサイド新年パーティー

3日(火) 夕方から夜:閉会式

このほか期間中は午前と午後、活動プログラム参加があり、夜はサブキャンプ等での交流などが行われていました。

ニューイヤーパーティー



日本スカウトはヨサコイソーランを披露した

■食事など

食料配給はスーパーマーケット方式。街中にあるスーパー同様の様々な食材や日用品の並んだマーケットに、各隊が買い出しに行きます。ここではジャンボリー小切手を使います。特に定められた献立ではなく、各隊が任意に必要な食材等を選んで購入します。マーケットは会場内で1か所だったので、かなりの混雑が見られました。

マーケットのほかにもケンタッキーフライドチキン

やミスタードーナツ、タイ屋台村などの出店があり、自由に飲食ができます。それらは現金払いです。



開会式



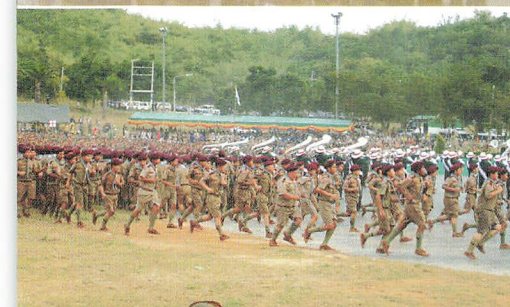
派遣団・東京出発組

2005-02-25



派遣団・大阪出発組

25 03:10M



開会式へ向かう各国のスカウトたち



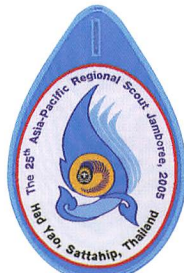
スカウトジャンボリー

Regional Scout Jamboree Thailand, 2005

to Peace 平和への道

昨年12月28日(水)から本年1月3日(火)の7日間、タイ王国・チョンブリ県・サッタヒーブにおいて、第25回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーが開催されました。アジア太平洋地域(APR)他の計37か国からおおよそ1万人の参加者が集い、ともに新年を祝いあい、交流を深めました。

APRスカウトジャンボリーはこれまで地域内の各国で開催されるナショナルジャンボリーに併催される形で開かれていましたが、今回同地域が2006年に50周年を迎えることを機にAPR独自での開催となりました。



参加章

シーサイド新年パーティー

■大会のプログラム

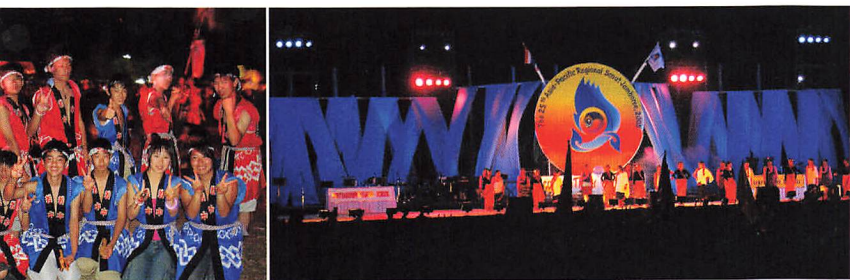
日々の活動プログラムは、隊などの単位で午前と午後それぞれ指定されたプログラム群に参加します。モジュールと呼ばれる形態で、これは今夏の14NJでも採用されます。

今回用意されたプログラム群は、地球開発村、科学の町、平和と文化の輪、トーナメント(各種ゲーム)、海のプログラム、ハイキング、タイの遺跡探訪、地域社会奉仕の8つ。これら8つのうち6つのプログラムに参加するとジャンボリー・アクティビティ・アワードが取得できます。革の台座に大きなメダルがついた重厚なアワードです。

また1月1日には平和行進として、各隊で平和へのメッセージを書いた布をつなぎ合わせ、海辺での新年パーティーへ向け全員で行進するという活動もありました。



ジャンボリー
アクティビティアワード



大会マスコット



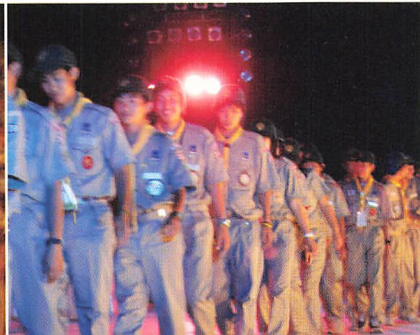
大会新聞に掲載された日本のISTのメンバー他

大会の実行委員長を務めたタイの教育副大臣に日本からの記念盾を贈る西村派遣団長

■日本からの派遣団

APRジャンボリーの前後期間を含め、12月26日(月)～1月6日(金)12日間、西村稔派遣団長(イベント委員会委員長・石川県連盟理事長)他スカウト42人、指導者10人、国際サービスチーム員(IST)7人、合計60人が全日程を無事終了しました。

閉会式



スキルアップ&ステップアップ～研修に行こう!

今年も全国各所で各種の指導者訓練機関が開設されます。皆さんの「スキルアップ&ステップアップ」のために、ぜひご参加ください。

ぜひ、ウッドバッジ研修所へ!

教育・社会・自然環境の変化に伴い、現代の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。生命を尊重する心、他者への思いやりや協調性、倫理観や正義感、自然体験活動……等々。心と身体バランスの取れた人格形成を基に、「生きる力」を育む教育の必要性がますます高まっています。こうした現況の中、ボーイスカウト運動の果たす役割とその意義はますます重要となっています。ボーイスカウト日本連盟では、この運動に携わる大人のために様々な研修を提供しています。その一つであるウッドバッジ研修所は「隊の指導者」の「基礎訓練」の場として、参加者がスカウトの訓練と隊運営の基本的方法を習得することを目的に開設しています。

ウッドバッジ研修所とは?

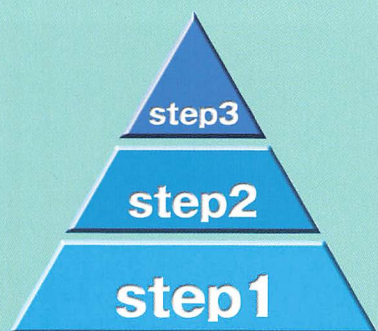
- ウッドバッジ研修所は、指導者講習会を修了した加盟員を対象に開設します。
- 3泊4日、自然の中でキャンプ生活を行いながら学びます。
- ビーバースカウト課程、カブスカウト課程、ボーイスカウト課程、ベンチャースカウト課程、ローバースカウト課程と、部門別に開設されます。
- スカウト教育の目的と原理・方法および隊指導者としての隊運営の基本とスキルが学べます。
- 自然の中で楽しく生活体験ができます。

どのように、ウッドバッジ研修所で?

- 事前に課題研修(予備学習・事前研修)を行います。これは、先輩指導者のサポートを受け、レポート形式で行います。
- 基本訓練の学習と生活は、少人数のグループを編成して行います。
- 各グループにはベテランの先輩指導者がつき、個別に学習のお手伝いをします。
- 経験豊かな講師陣や参加者同士の体験交流を通して学習を深めます。

ウッドバッジ (Wood Badge)とは

ウッドバッジ実修所修了者に与えられる
革ヒモについた木製のピース



指導者のためのトレーニング

隊指導者の訓練・研修は指導者講習会、ウッドバッジ研修所、ウッドバッジ実修所の3段階システムで構成されています。

step1 隊指導者導入訓練・・・指導者講習会

step2 隊指導者基礎訓練・・・ウッドバッジ研修所
(修了の証しにウォググル授与)

step3 隊指導者上級訓練・・・ウッドバッジ実修所
(修了の証しにウッドバッジ授与)



ウッドバッジ研修のしくみ

参加者が事前に取り組む「課題研修」と「基本訓練(3泊4日)」の2段階で構成されています。

課題研修 (予備学習・事前研修)

先輩指導者のサポートを受け、レポート形式で実施します。

基本訓練 (3泊4日キャンプ)



基本訓練を修了されると、証しとしてウォググル(革製のネッカチーフ止め)が授与されます。

平成18年度 指導者訓練機関開設予定 H18.1.19現在

今年も全国各地で、指導者訓練機関が開設されます。現時点で場所等調整中のものもありますが、一覧表にてご案内いたします。

(1) ウッドバッジ研修所

< ビーバースカウト課程 >

No.	開設県	期数	期間	場所
1	福島	第5期	5/3～5/6	つつじが森野営場
2	茨城	第15期	10/6～10/9	土浦青少年の家
3	群馬	第16期	5/3～5/6	群馬県立おにし野外活動センター
4	埼玉	第21期	(未定)	那須野営場
5	千葉	第20期	5/4～5/7	千葉県立東金青年の家
6	神奈川	第31期	5/4～5/7	山中野営場
7	神奈川	第32期	9/15～9/18	(未定)
8	東京	第35期	4/29～5/2	山中野営場
9	東京	第36期	9/15～9/18	山中野営場
10	福井	第2期	10/6～10/9	(未定)
11	静岡	第16期	5/3～5/6	三島市立箱根の里
12	愛知	第29期	5/3～5/6	愛知連盟新城・吉川野営場
13	京都	第8期	5/4～5/7	舞鶴グリーンスポーツセンター
14	兵庫	第17期	10/6～10/9	(未定)
15	和歌山	第2期	5/4～5/7	紀北青少年の家
16	大阪	第33期	5/4～5/7	(未定)
17	愛媛	中国・四国第6期	5/3～5/6	松山市野外活動センター
18	福岡	第16期	5/3～5/6	福岡県連盟脇山野営場

< カブスカウト課程 >

No.	開設県	期数	期間	場所
1	北海道	第43期	9/15～9/18	苫小牧市青少年キャンプ場
2	青森	第6期	5/4～5/7	青森市内(検討中)
3	宮城	第17期	9/15～9/18	旭山農業体験実習館
4	茨城	第35期	5/4～5/7	土浦青少年の家
5	栃木	第25期	5/4～5/7	佐野市作原野外活動施設
6	群馬	第34期	5/3～5/6	群馬県立おにし野外活動センター
7	埼玉	関東第83期	(未定)	那須野営場
8	千葉	第71期	5/4～5/7	千葉県立君津亀山少年自然の家
9	千葉	第72期	10/6～10/9	千葉県立東金青年の家
10	神奈川	第98期	6/2～6/5	山中野営場
11	神奈川	第99期	9/15～9/18	(未定)
12	東京	第117期	4/29～5/2	山中野営場
13	東京	第118期	9/15～9/18	山中野営場
14	新潟	第16期	5/3～5/6	妙高市東本願寺青少年研修センター
15	岐阜	第31期	5/4～5/7	土岐活動センター野営場
16	静岡	第59期	5/4～5/7	浜松地区・太田山野営場
17	愛知	第97期	4/29～5/2	愛知連盟新城・吉川野営場
18	愛知	第98期	10/6～10/9	愛知連盟新城・吉川野営場
19	京都	第32期	5/4～5/7	京都連盟広河原野営場
20	兵庫	第63期	5/3～5/6	(未定)
21	奈良	第32期	11/2～11/5	奈良県立第1野外活動センター
22	大阪	第138期	5/4～5/7	(未定)
23	福岡	第34期	9/15～9/18	福岡県連盟脇山野営場
24	佐賀	佐賀・長崎第1期	5/4～5/7	佐賀県黒髪少年自然の家

< ボーイスカウト課程 >

No.	開設県	期数	期間	場所
1	北海道	第43期	5/4～5/7	旭川地区野営場
2	岩手	第10期	10/6～10/9	国立岩手山青年の家
3	秋田	第8期	5/3～5/6	保呂羽山少年自然の家
4	茨城	第32期	10/6～10/9	土浦青少年の家
5	群馬	第31期	5/4～5/7	群馬県立おにし野外活動センター
6	埼玉	関東第83期	(未定)	那須野営場
7	千葉	第68期	5/4～5/7	佐原市香取神宮
8	千葉	第69期	10/6～10/9	千葉県野田市野田第7団野営場
9	神奈川	第96期	5/4～5/7	山中野営場
10	神奈川	第97期	10/6～10/9	山中野営場
11	東京	第121期	4/29～5/2	東京連盟日向野営場
12	東京	第122期	10/6～10/9	東京連盟日向野営場
13	静岡	第57期	4/30～5/3	浜松地区・太田山野営場
14	愛知	第99期	4/29～5/2	愛知連盟新城・吉川野営場
15	愛知	第100期	10/6～10/9	愛知連盟新城・吉川野営場
16	滋賀	第17期	5/4～5/7	浅柄野野営場
17	兵庫	第51期	10/6～10/9	(未定)
18	奈良	第30期	5/4～5/7	奈良県立第2野外活動センター
19	大阪	第144期	5/4～5/7	(未定)
20	岡山	中国・四国第6期	5/3～5/6	金光町聖ヶ丘野営場
21	福岡	第37期	10/6～10/9	福岡県連盟脇山野営場
22	沖縄	第15期	10/6～10/9	沖縄県連盟源河野営場

< ベンチャースカウト課程 >

No.	開設県	期数	期間	場所
1	茨城	第8期	5/4～5/7	土浦青少年の家
2	栃木	第4期	9/15～9/18	栃木県連盟野営場
3	群馬	第3期	9/15～9/18	群馬県立おにし野外活動センター
4	埼玉	第9期	(未定)	那須野営場
5	千葉	第9期	5/4～5/7	千葉県野田市野田第7団野営場
6	神奈川	第9期	6/2～6/5	山中野営場
7	東京	第16期	5/3～5/6	東京連盟日向野営場
8	岐阜	第4期	5/4～5/7	岐阜県連盟富加の森野営場
9	静岡	第7期	11/23～11/26	浜松地区・太田山野営場
10	愛知	第9期	9/21～9/24	愛知連盟新城・吉川野営場
11	兵庫	第9期	5/3～5/6	(未定)
12	奈良	第7期	5/4～5/7	奈良県立第2野外活動センター
13	大阪	第18期	11/2～11/5	(未定)

< ローバースカウト課程 >

No.	開設県	期数	期間	場所
1	愛知	第10期	9/21～9/24	愛知連盟新城・吉川野営場
2	広島	中国・四国第1期	5/2～5/5	東広島市八本松町

< 合同課程 >(試行)

No.	開設県	期数	期間	場所	課程
1	山梨	第1期	10/6～10/9	富士吉田市青少年センター	BVS・CS
2	富山	第3期	5/4～5/7	国立立山少年自然の家	BVS・CS・BS
3	石川	第1期	(未定)	(未定)	BVS・CS
4	長野	第1期	5/3～5/6	長野県連盟大町野営場	BVS・CS・VS

(2) 国連営研修所

No.	開設県	期数	期間	場所
1	岩手	第3期	5/4～5/6	国立岩手山青年の家
2	宮城	第8期	11/3～11/5	旭山農業体験実習館
3	栃木	第10期	11/23～11/25	那須野営場
4	千葉	第16期	10/7～10/9	千葉県立東金青年の家
5	神奈川	第21期	5/5～5/7	川崎市立青少年の家
6	東京	第19期	5/3～5/5	ボーイスカウト会館
7	新潟	第4期	9/16～9/18	胎内市・県少年自然の家
8	富山	第8期	H19.2/10～2/12	二上青少年の家
9	長野	第22期	11/3～11/5	茅野市青少年自然の森
10	岐阜	第10期	11/3～11/5	岐阜市少年自然の家
11	静岡	第16期	5/4～5/6	国立中央青年の家(御殿場)
12	愛知	第23期	7/15～7/17	愛知連盟新城・吉川野営場
13	三重	第4期	5/4～5/6	鈴鹿青少年センター
14	滋賀	第6期	10/7～10/9	(未定)
15	兵庫	第15期	5/4～5/6	神戸市セミナーハウス
16	大阪	第24期	10/7～10/9	(未定)
17	福岡	第11期	H19.2/10～2/12	(未定)
18	宮崎	第3期	11/24～11/26	宮崎県内(検討中)
19	鹿児島	第3期	5/4～5/6	国立大隈少年自然の家

(3) コミッショナー研修所

No.	開設県	期数	期間	場所
1	茨城	関東第18期	11/3～11/5	土浦青少年の家
2	静岡	第9期	11/24～11/26	国立中央青年の家(御殿場)
3	愛知	第17期	11/3～11/5	愛知連盟新城・吉川野営場
4	奈良	第2期	11/3～11/5	(未定)
5	山口	中国・四国第2期	10/7～10/9	光市野外活動センター周防の森ロッジ
6	熊本	九州・沖縄第6期	9/22～9/24	熊本県立あしきた青少年の家

(4) 日本連盟開設訓練機関(定型訓練)

< ウッドバッジ実修所 >

課程	期数	期間	場所
BVS	第29期	5/1～5/6	那須野営場
CS	第138期	4/30～5/5	那須野営場
	第139期	5/2～5/7	京都市静原キャンプ場
	第140期	10/5～10/10	那須野営場
BS	第159期	4/30～5/5	大阪・豊中市青少年野外活動センター
	第160期	5/2～5/7	愛知連盟新城・吉川野営場
	第161期	10/31～11/5	那須野営場
VS	第15期	4/30～5/5	宮崎連盟野外活動訓練センター
	第16期	10/4～10/9	那須野営場

< 成人指導者訓練 >

訓練名	期数	期間	場所
コミッショナー実修所	第17期	11/3～11/5	国立オリンピック記念青少年総合センター
副リーダー・トレーナーコース	第51期	8/23～8/27	那須野営場
リーダー・トレーナーコース	第27期	9/14～9/18	那須野営場

ウッドバッジ研修所の詳細については、それぞれの開設県連盟にご確認ください。
今後の追加・変更等については日本連盟ホームページをご覧ください。
http://www.scout.or.jp/j/info/training/training_pian.html

世界スカウト運動創始100周年記念事業 ステップアップ100運動 第1年度フォローアップ 実施状況

全国で続々達成中！

■ 顕彰

一定の基準を達成した各隊(指導者・スカウト)と団(団委員)に顕彰バッジを贈呈しています。平成17年12月末日までの全国の受賞状況です。本年度ホップ賞(HOPバッジ)に該当する団・隊でまだ申請されていない団・隊は早めの申請をお願いします。

ホップ賞(HOPバッジ)の顕彰基準・顕彰対象者・申請手続き等は、日本連盟ホームページまたは平成17年2月に県連盟を通じてすべての団にお送りした「ステップアップ100運動第1年度フォローアップ要領」をご参照ください。

■ 顕彰バッジ

基準を達成した隊の指導者とスカウトおよび団(団委員)は、ホップ賞=HOPバッジ(黄色)・ステップ賞=STEPバッジ(緑色)・ジャンプ賞=JUMPバッジ(赤色)を平成19年度までの顕彰期間中着用します。初年度である平成17年度は「ホップ賞」のみの顕彰となります。顕彰バッジは随時日本連盟から県連盟を経由して無償で贈られます。

■ ホップ賞(HOPバッジ) 着用位置

ホップ賞は100周年記念標章(ワッペン)の上部に縫い付けます。(100周年記念標章ワッペンは制服の左ポケット上位(ビーバーは左胸)に付けます)



大きさ: だて8mm×よこ13mm

黄色アクリル製(両端に穴が開いていますので糸で制服にとめます)

写真の100周年記念標章(ワッペン)の上部は左からホップ賞=HOPバッジ(黄色、17年度から)

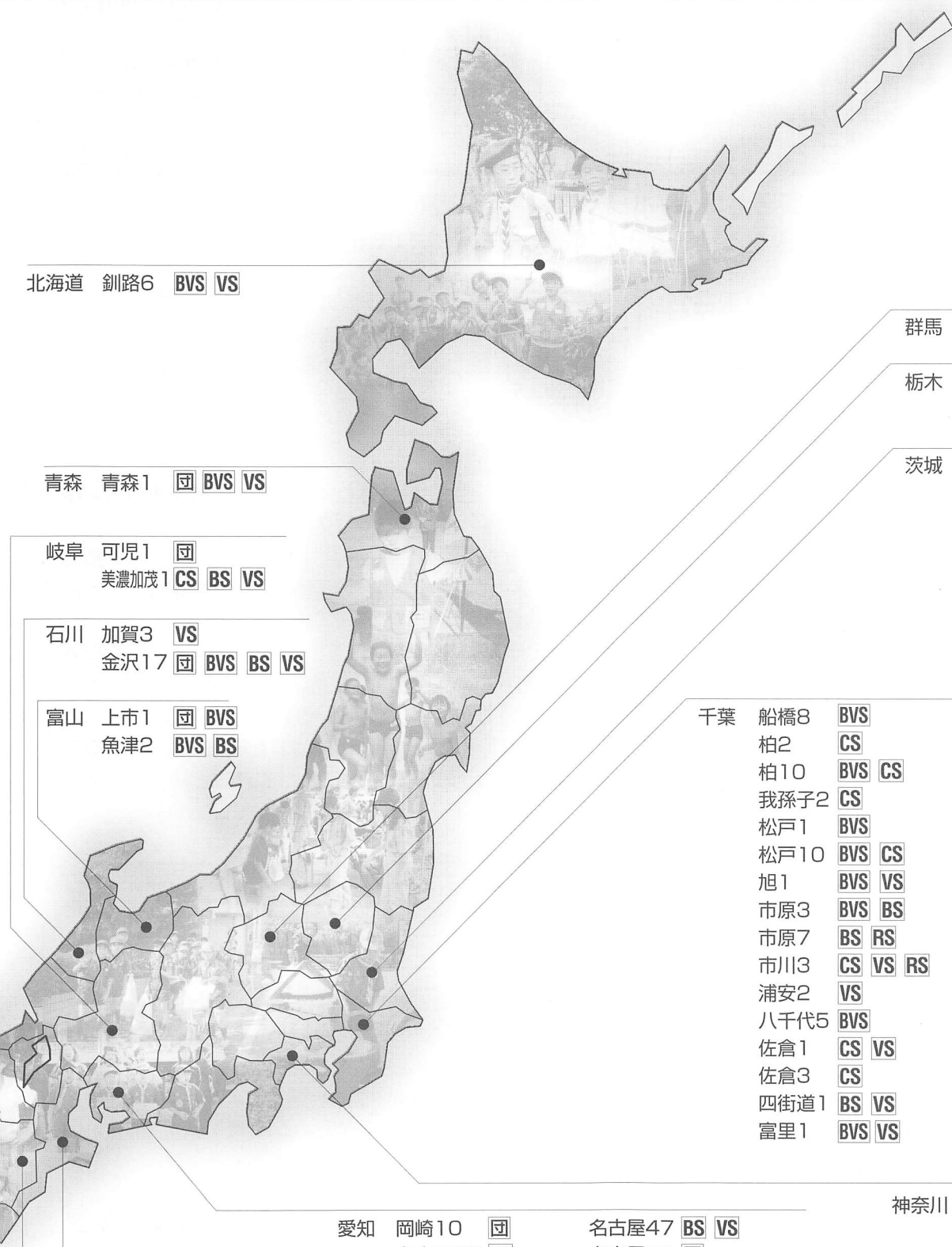
ステップ賞=STEPバッジ(緑色、18年度以降から)ジャンプ賞=JUMPバッジ(赤色、19年度)です。

福岡	北九州1	団	CS	北九州2	BS
	北九州3	CS		北九州4	BVS CS
	北九州5	団	BVS BS	北九州14	CS
	北九州19	CS	VS	北九州28	CS BS
	北九州37	BVS	CS	北九州42	CS BS
	北九州45	CS		北九州46	BVS CS
	北九州49	BVS	VS	北九州51	BVS CS
	北九州52	BVS		北九州54	BVS CS
	北九州55	VS		北九州57	BVS
	豊前3	BVS	CS VS	遠賀2	CS VS
	遠賀3	CS		中間3	CS
	粕屋10	団	BVS BS VS	直方3	BVS CS
	古賀1	BVS		福岡14	BVS BS
	福岡20	BVS	RS	福岡21	BVS VS
	福岡27	VS		福岡32	VS
	福岡33	VS	RS	福岡35	BVS
	福岡37	BVS		糸島1	BS
	筑紫2	団	BVS VS RS	久留米10	BS
	久留米11	BVS	BS VS	久留米13	BVS
	大川1	CS	BS	大牟田3	VS
	甘木1	BVS		山門1	BS
	八女1	BS		春日1	VS
	春日3	VS		大野城1	CS

長崎 諫早2 VS

兵庫	西宮3	団	BVS VS	西宮6	CS
	西宮7	VS		西宮10	BVS
	西宮11	BVS		西宮27	団
	伊丹3	CS	RS	伊丹11	VS
	神戸33	CS	RS	神戸54	団 VS
	芦屋1	VS		尼崎7	VS
	尼崎11	VS		尼崎14	BVS
	尼崎17	BVS	VS	尼崎21	VS
	尼崎24	BVS		川西4	VS
	川西6	CS	BS		

徳島	徳島5	BVS	CS
	鳴門2	BVS	BS
	鳴門9	BVS	BS VS
	板野1	BVS	
	板野2	BVS	



北海道 釧路6 BVS VS

青森 青森1 団 BVS VS

岐阜 可児1 団
美濃加茂1 CS BS VS

石川 加賀3 VS
金沢17 団 BVS BS VS

富山 上市1 団 BVS
魚津2 BVS BS

群馬 桐生1 団

栃木 佐野4 VS
那須7 BS VS

茨城 つくば3 BVS BS
水戸2 VS
水戸4 VS
水戸5 BVS VS
水戸8 CS
ひたちなか1 BVS
ひたちなか2 RS
美野里1 BVS CS BS

千葉 船橋8 BVS
柏2 CS
柏10 BVS CS
我孫子2 CS
松戸1 BVS
松戸10 BVS CS
旭1 BVS VS
市原3 BVS BS
市原7 BS RS
市川3 CS VS RS
浦安2 VS
八千代5 BVS
佐倉1 CS VS
佐倉3 CS
四街道1 BS VS
富里1 BVS VS
船橋17 CS
柏9 BVS
我孫子1 BS
野田2 BS
松戸6 CS
松戸11 BVS
市原1 BS VS
市原6 BVS
茂原2 団
市川6 BVS
八千代1 BS
習志野2 BVS
佐倉2 BVS VS
成田1 VS RS
四街道2 BS VS
酒々井1 BVS BS

三重 鈴鹿1 団

愛知 岡崎10 団
名古屋63 BS
春日井3 BVS VS
小牧2 CS
武豊1 BVS CS
南知多1 CS VS
名古屋47 BS VS
名古屋91 団
春日井10 VS
小牧4 BVS
武豊2 BVS VS
豊田16 団 BVS CS RS

神奈川 横浜27 BVS
横浜61 BVS
横浜65 BVS CS
横浜79 団
横浜96 団
横浜98 VS
横浜103 団
横浜128 BVS

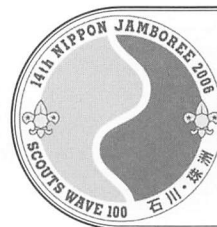
奈良 奈良6 VS RS
奈良15 BVS
生駒5 BVS BS

奈良10 団
生駒2 BVS CS

合計 148団 (17県連盟) 3,384人

Jamboree Information

ジャンボリー情報 ①



第14回日本ジャンボリー

2006年8月3日(木)～7日(月)
石川県珠洲市・りふれっしゅ村 鈴ヶ崎

テーマ 風の不思議を突っ走れ!
-Scouts Wave 100-

いよいよ今夏開催されます第14回日本ジャンボリー。確定申込の時期が近づいてきました。参加者、奉仕者の皆さんに直接関連する情報をとりまとめてお伝えします。

■参加予定申し込み状況 (12月末日現在)

参加隊	401隊	15,930人
奉仕隊	53隊	1,327人
県連盟派遣団本部要員		193人
サブキャンプ本部要員		893人
ジャンボリー本部要員		741人
合計		19,084人

■参加確定申し込みについて

参加隊、奉仕隊、SHQ要員、県連盟派遣団本部員、JHQ要員とも、県連盟への申込期日は3月末日になります。

参加費：1人あたり 21,000円

参加隊

参加隊は、参加確定申込書に所定事項を記入のうえ、参

加費を添えて、所属県連盟に申し込んでください。

→参加隊の配置については各都道府県連盟で調整します。10こ隊を超える県連盟は分散配置となり、複数のSCに配置されます。

奉仕隊

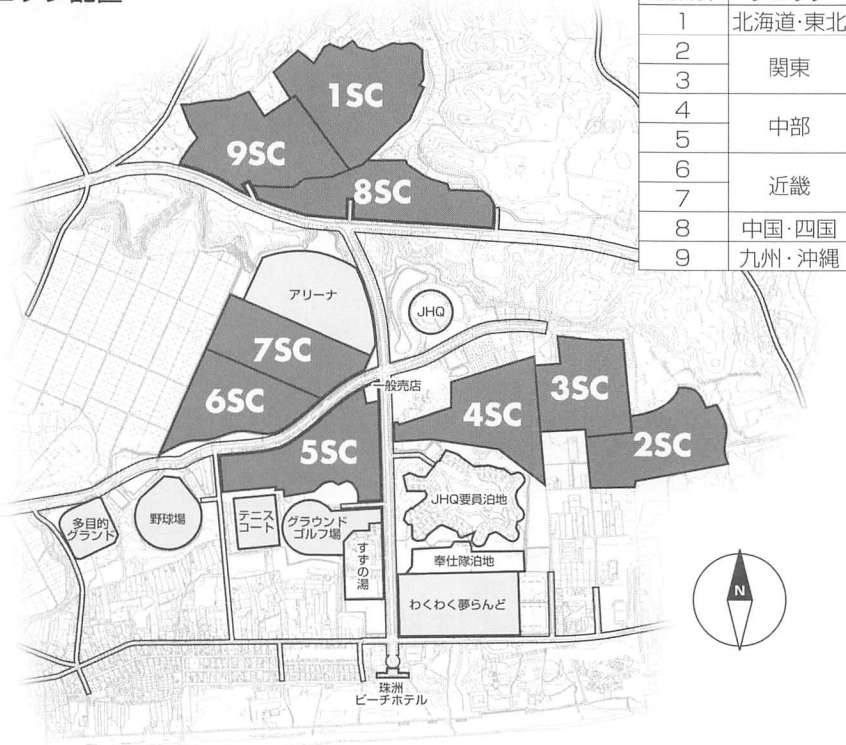
●1つの県連盟で編成される奉仕隊は、参加隊の確定申込と同様の方法でお申し込みください。

●ブロックで編成される場合は、予めブロック内で指導者・スカウトの参加人数を調整のうえ、各県連盟ごとに申し込みください。

→各SHQの奉仕隊数は3こ隊となりますので、これ以外の奉仕隊はJHQの配属になります。各ブロック(またはSC)でSHQ・JHQ別の配属を決定します。

●演技グループ：参加の承認された演技グループ(音楽隊、鼓隊、カラーチーム等)は、奉仕隊と同様の方法でお申し込みください。

ブロック配置



SHQ要員・県連盟派遣団本部員

次のJHQ要員と同様の方法でお申し込みください。

JHQ要員

「14NJ参加確定申込書」に所定事項を記入のうえ、参加費を添えて所属県連盟に申し込んでください(予定申込を行っていない人は予納金：5,000円も合わせて添える)。

★★★JHQ要員大募集★★★

大会運営を支えるJHQ要員が全般に不足しています。全国から大勢の奉仕を歓迎します。対象は18歳以上のローバースカウト、準指導者、指導者で、全日程参加できる方です。JHQ要員は8月1日(火)13時に現地に集合し、8日(火)午後解散します(各部により異なります)。各部の業務は次の通

り、自分の技能を生かせる部署を見つけて、ぜひ奉仕してください。

JHQ各部署の業務

部署	主な業務	備考
総務部	大会本部の会議等の運営や来賓の受付など	定員のため受付終了
広報部	J新聞、FM放送、ホームページ等大会広報に関すること	アナウンサー他募集中
野営管理部	環境保全、規律・安全の保持、野営生活の全般的指導に関すること	
輸送部	集散時の車輛誘導など交通・車輛管理全般に関すること	
見学者案内	見学者の案内や宿泊に関すること	
国際部	外国参加者の受入に関すること	
救護部	中央救護所の運営・参加者の健康管理に関すること	看護師募集中
全体行事部	開閉会式・J大集会に関すること	
選択プログラム部	各種選択プログラムの実施運営	
宗教部	信仰奨励に関すること	
施設資材部	施設の管理、資器材の配分など	集合は7/31(月) 解散は8/8(火)夕方
配給部	食料の配給、本部食堂の運営など	
スカウト用品部	記念品販売など	定員のため受付終了

大会の献立（※今後変更されることもあります）

	第1日 8/3(木)	第2日 8/4(金)	第3日 8/5(土)	第4日 8/6(日)	第5日 8/7(月)	翌日 8/8(火)
行事	設営・開会式	自主参加行事	宗教儀礼 自主参加行事 J大集会	自主参加行事	自主参加行事 閉会式	撤営
朝食		サンドイッチ スクランブルエッグ コンソメスープ フルーツ(バナナ) 牛乳	米飯 味噌汁 野菜いため フルーツ(グレープフルーツ) 漬物 牛乳	米飯 味噌汁 さわらの黄金焼 厚焼きたまご 温野菜サラダ ふりかけ 牛乳	米飯 味噌汁 鮭甘塩焼 ミートオムレツ 温野菜サラダ 漬物 牛乳	ロールパン 魚肉ソーセージ スティックチーズ フルーツ(バナナ) 野菜ジュース
昼食	バターロール スパゲティナポリタン 野菜ジュース	おにぎり 携行用副食 漬物 お茶	焼きそば 煮込みフランクフルト ジュース	ハンバーガー スポーツドリンク	皿うどん 焼おにぎり ジュース	カロリーメイト コンニャクゼリー お茶
夕食	中華丼 わかめ卵スープ(コンソメ味) フルーツゼリー	焼肉 米飯 岩のりのお吸い物 野菜サラダ ヨーグルト	カレー 野菜サラダ 福神漬 ドレッシング フルーツ(キウイフルーツ)	五目御飯 能登名物・いしる鍋 漬物 デザート(アップルパイ)	ハンバーグ 米飯 味噌汁 野菜サラダ 茶碗とうふ デザート(プリン)	

◎大会の見学について

参観者(見学スカウト、一般見学者)は、大会期間中の8月3日(木)～7日(月)の毎日朝9時から入場でき、夜間に全体行事のある3日(木)、5日(土)、7日(月)は21時まで、それ以外の日は17時までで退場します。参観者はジャンボリー見学章(原則として都道府県連盟を通じて事前頒布)を着用して入場します。

見学スカウトの輸送、宿泊、食事は各隊・団で手配することになります。地元の旅館・民宿等の宿泊施設を利用する場合には下記の珠州市観光協会を通じて、地元小中学校等公共施設を利用する宿泊は見学者案内部を通じてお申し込みください。

自家用車の場内乗り入れはできませんので、会場手前約2kmの蛸島漁港に設ける見学者用駐車場にとめ、シャトルバスで入場してください。大型バスは会場内に乗降場所を設けます。詳細な位置、事前の申し込み等については、今後、スカウティング誌や大会ホームページを通じてお知らせします。

【旅館・民宿などの宿泊】

大会期間中の珠州市での宿泊のお問い合わせ・予約先

珠州市観光協会 (<http://www.notohantou.jp/>)

電話：0768-82-4688 (FAX: 6360)

eメール：kanko@mx3.et.tiki.ne.jp

【公共施設の宿泊】

都道府県連盟を通じて配布する見学者の手引きをご参照ください。

■大会の食事

大会の献立(下表)が決まりました。献立を参考に、薪を使った調理など事前訓練を各隊で進めてください。表の網かけ部分の昼食は、朝調理をしてプログラム参加時に持っていけるように「携行食」を前提にしています。

14NJでは、各SHQを通じた食材配給を行います。配給される食材は、各隊単位：40人用のパックになっています。なお配給される食材には「米」が含まれませんので、各自手配をお願いします。また大会では汚水をなるべく少なく抑えるよう「無洗米」をお使いいただくよう、スカウトへの指導を併せてお願いいたします。

日本連盟 傷害共済制度について(初年度10万人が加入!)

傷害共済制度は、平成17年4月から運用を開始し、本年で2年目に入ります。平成18年度の申込みにつきましては、1月下旬より全国の団宛にお送りします「平成18年度傷害共済制度加入についてのお知らせ」をご覧くださいの上、加入申し込みをしていただきます。



1. 共済制度の内容

【補償概要】

補償項目	概 要	給付金額	備 考
災害死亡補償	スカウト活動中に不慮の事故や災害により死亡したとき	20,000,000円	事故の日から180日以内の死亡についてお支払いします。
疾病死亡補償	スカウト活動中に突発的な病気の発症により突然死したとき	300,000円	活動中に突然発症した疾病を直接の原因とし、発症から24時間以内に死亡した場合にお支払いします。
後遺障害補償	スカウト活動中に不慮の事故や災害により後遺障害を被ったとき	障害の程度に応じて 3,000～90万円	障害の程度に応じて予め定められた支払割合に従ってお支払いします。
入院補償	スカウト活動中に不慮の事故や災害により傷害を被り、入院したとき	入院1日につき 4,000円	事故の日から180日以内の実入院日数に応じてお支払いします。
通院・往診補償	スカウト活動中に不慮の事故や災害により傷害を被り、通院または往診を受けたとき	通院・往診1日につき 2,000円	事故の日から180日以内の実通院または実往診日数に応じてお支払いします(90日分を限度とします)。

【共済制度の特徴】

- 年額掛金1人500円の傷害共済制度です。
- ボーイスカウト活動中の他、指導者の管理・監督下でない場合や単独行動時(※1)、活動場所への往復時(※2)も補償の対象となります。
- 入院補償や通院補償は事故の日当日から180日以内の長期補償。実日数に応じて1日目からお支払いします(ただし、通院補償については90日分を限度とします)。

- スカウト・指導者・団委員等、当連盟に加盟登録している方の他、仮入隊者やその親族(※3)も加入いただける制度です。
- 他の保険や補償制度の内容にかかわらず、給付金をお支払いします。

(※1)当連盟(下部組織を含みます)の指示のもとで行われた正規の活動に限りです。
(※2)事故時に制服を着用していること、または活動内容について事前に日時・場所・参加者名等が確定している場合に限りです。
(※3)仮入隊者やその親族については、当連盟へ事前に名簿を提出されている方に限りです。

2. 給付金をお支払いできない場合(免責事項)

全補償種目共通の免責事項	・ 加入者または給付金を受け取るべき者の故意によるもの ・ 加入者の自殺行為、競争行為または犯罪行為および刑の執行 ・ 飲酒運転または無免許運転等により正常な運転ができない恐れがあると判断される状態で自動車等を運転している間に生じた事故 ・ 地震もしくは噴火またはこれらによる津波 ・ 戦争、外国の武力行使、内乱、テロおよびその他これに類似の事変または暴動 ・ 核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれらによる事故
「疾病死亡補償」を除く免責事項	・ 病気および原因のいかんを問わずもうちう症や腰痛で他覚症状のないもの ・ 補償対象者の妊娠・出産等または外科的手術その他の医療処置 ・ 自動車レース、スカイダイビング等、危険な運動活動中に生じた事故
「疾病死亡補償」に関する免責事項	・ ボーイスカウト活動外にですで発症していた疾病、またはその兆候が現れていた疾病を直接の原因とする場合 ・ 発症から24時間以上を経て死亡された場合 ・ 「災害死亡補償」にて補償の対象となる場合(重複してお支払いしません)

※ここでは主な免責事項をご案内しています。免責事項の詳細につきましては、各団宛にお送りする共済制度規約をご確認いただくか、直接当連盟までお問い合わせください。

3. 共済ご加入にあたって

- 本傷害共済制度の補償期間は平成18年4月1日～平成19年3月31日までの1年間です。
- 本共済制度への加入お申し込みは、団単位にて一括加入とさせていただきます。個人でのお申し込みはお受けできません。
- スカウト活動を脱退する等、本共済制度より脱会する場合においても、未経過期間に相当する掛金の返金はございません。
- 本傷害共済制度へのご加入は、加入者1人につき1口に限らせていただきます。
- 大規模自然災害や大規模事故により、これら一事由による当連盟より支払われる給付金の合計額が10億円を超える場合には、給付金を減額して支払うか、その全額を支払わない場

合がございます。

- 本共済制度の「災害死亡補償」および「後遺障害補償」については別途保険会社の再保険に加入しております。

4. 加入申し込み等の手続きについて

【加入申し込み時の手続き】

掛金の支払いを含めて、各団において一括して行います。

なお、当連盟に登録していない仮入隊者やその親族の方は、加入時に別途氏名、生年月日、性別を届け出てください。

- ① 加入申し込みの掛金については、直接日本連盟の特別口座に人数分を送金下さい。

◆銀行からの送金

三菱東京UFJ銀行三鷹支店 普通預金1467496

◆郵便局からの送金

00160-0-500773

◆口座の名義

財団法人ボーイスカウト日本連盟傷害共済制度

- ② 加入申し込み書は所属の地区・都道府県連盟に提出ください。加入申し込み書には銀行が発行する「振込金受取書」もしくは、郵便局の「振替払込受領証」のコピーを必ず添付ください。

【期間の途中で追加加入される場合】

年度途中で団として一括加入される場合、あるいは団としては既に加入をしており、年度途中で追加登録があった場合等、本傷害共済制度に追加で加入される場合には、上記同様、加入申込書の提出および掛金の振り込みが必要です。

なお、補償対象期間は加入時期にかかわらず当年度末の3月31日までとしております。また、加入時期により掛金の割引制度がございます(下表参照)。

加入時期	お支払いいただく掛金
4～5月加入の場合	1人あたり500円
6～8月加入の場合	1人あたり400円
9～12月加入の場合	1人あたり300円
1～3月加入の場合	1人あたり200円

【事故発生時の給付金申請の手続き】

加入者が事故に遭われた等により、給付金をご請求される際は、当連盟の共済担当へご一報ください。なお、ご請求される内容によっては医師の診断書が必要になる場合がございます。

給付金のお支払い先について、原則として対象となる給付金の種類により、以下のように定めております。

- 災害死亡給付金・疾病死亡給付金…加入者のご遺族様
➤ 上記以外の給付金……………加入者ご本人様

5. 対物賠償責任共済について

- ・この共済制度に加入された団が、スカウト活動中に他人の財物を損壊させた場合に生じる対物賠償責任事故も補償の対象となります(1事故500万円限度)。
- ・スカウト活動中の対人賠償については、この共済制度への加入の有無に関らず、日本連盟が保険会社と別途賠償責任保険を契約しております(右段参照)。

賠償責任保険について

ボーイスカウト賠償責任保険のあらまし

「ボーイスカウト賠償責任保険」とは、ボーイスカウト活動中に、スカウトまたはスカウト以外の第三者が、事故により死亡、または負傷した際に、日本連盟、都道府県連盟、地区組織、団、ならびに指導者等の主催者側が、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金として支払うものです。

以下のような場合に適用されます。

- ① 運動会、ハイキング、キャンプ等の「スポーツ活動」
- ② 音楽会、親睦会、レクリエーション等の「文化活動」
- ③ 防火、防災等への協力活動、清掃活動等の「社会奉仕活動」
- ④ 学習活動、生産活動、会合、大会等の「その他の活動」
- ⑤ 上記①～④の企画立案、作業等の「付随活動」

※「ボーイスカウト活動中」とは、原則としてスカウトがボーイスカウトの制服を着用して、加盟組織の管理下での活動および行事に参加している間をいいます。

※「加盟組織の管理下」とは、上記活動および行事に参加するため、指定された集合地に集合したときから、解散地において解散するまでの間で、指導者が引率している場合をいいます。

日本連盟が登録料から保険料を納入し、一括で加入しています。これはスカウト活動中の事故で、指導者に責任があった場合に支払われる保険です(以下の場合を除く)。

- ① スカウトがケガをした場合でも、法律上の損害賠償責任が発生しなければ、この保険の対象とはなりません。
- ② 対象となるのは対人だけとなります。万一物を破損させた場合の対物損害賠償は対象外です。
- ③ 自動車事故にかかわる損害賠償は、たとえ対人であっても対象外です。

保険金額は、1人 1億円限度／1事故 5億円限度。1事故についての免責金額(主催者負担額)は1万円までです。また、指導者の過失の割合等により、上記金額の限度までは支払われないことがあります。

スカウトの指導者と保護者の皆さんに知っていただきたい保険についての基礎知識を、現在日本連盟が一括して加入している賠償責任保険を例にご案内します。

■被保険者

保険金を受け取る人です。ボーイスカウトの賠償責任保険の場合、活動の主催者(行事等の責任者)となります。ここに定める主催者とは、主催団体ならびに同役員、および行事計画書に記載されている指導者を指します。

■担保内容

スカウト活動中に、主催者の過失によって事故が発生し、活動に参加している者、またはその他の第三者が負傷あるいは死亡し、主催者が法律上の賠償責任を負担する場合に保険金が支払われます。

主催者の過失による事故として、次のような例が考えられます。

- ① 事前の点検注意を怠った場合
- ② 適切な指導を怠った場合
- ③ 事故発生時の措置が十分でなかった場合

■てん補限度額

1人につき1億円、1事故につき5億円を限度とします。ただし、1事故につき免責金額(主催者側負担額)を1万円とします。また、平成11年度からは、食中毒の場合の事故についても補償されることになりました。てん補限度額とは、それぞれ当該事故ごとの限度額であり、保険金支払いに際しては、指導者の過失割合等に応じた認定額が限度となります。

保険期間中に2回以上事故が発生した場合にも、各々の事故について1人につき1億円、1事故について5億円がてん補限度額となります。ただし、食中毒に限り、1年間の限度額が5億円となります。

■支払われる保険金の種類

(1) 損害賠償金

法律上の賠償責任を負担することによって被る被害で、具体的には、

- ① 死亡・後遺傷害の場合は、逸失利益、慰謝料、死亡または後遺傷害確定までの治療費、死亡した場合の葬儀料等が合算されて認定された額。
- ② 傷害の場合は、治療費、通院交通費、慰謝料等が合算されて認定された額。

(2) 応急手当費用

事故発生後における応急手当、搬送、その他、緊急措置に要した費用。

(3) 争訟費用

事故発生後に生じた訴訟、仲裁、和解等に要した費用。弁護士報酬費用も含み、勝訴・敗訴を問わない。

(4) 損害防止軽減費用

事故発生後に講じた、損害防止軽減措置のため必要、または有益と認められる費用。

(5) 保険会社への協力費用

保険会社が、直接被害者と折衝する必要を認めた場合、その際に主催者が要した費用。

※この保険は、法律上の損害賠償責任を負担した主催者側の損失を補てんするもので、見舞金制度ではない。

※ボーイスカウト活動中の事故については、指導者、主催者の一方的な過失によるものだけではなく、被害者にも過失のある場合がある。その場合には、被害者の過失の占める割合に応じて、損害賠償金の額が決定される。

■保険金が支払われない場合

ボーイスカウト活動中の事故に起因する場合であると間接であると問わず、以下の事由による損害賠償責任については、保険金の支払いは受けられません。

- ① 主催者である指導者が自ら被った死傷事故に対する損害賠償責任。
- ② 主催者側、またはスカウトの故意による事故に対する損害賠償責任。
- ③ 戦争、変乱、暴動、労働争議、騒擾^{そうじょう}による事故に対する損害賠償責任。
- ④ 地震、噴火、洪水、津波等の天災による事故に対する損害賠償責任。
- ⑤ 主催者側と被害者側の間に、損害賠償に関し特別な約束のある場合、その約束によって加重された損害賠償責任。
- ⑥ 排水、または排気(煙を含む)による事故に対する損害賠償責任。
- ⑦ 自動車、航空機、エレベーター、エスカレーター、船等、の所有、使用、管理に起因する事故に対する損害賠償責任。
- ⑧ その他、「施設所有(管理)者特別約款」第2条に該当する事項。

■事故発生時の通知

行事の主催者は、万一、賠償責任を負うおそれのある事故が発生したときは、直ちに電話等で事故通知をしてください。

(1) 事故通知のルート

主催者が団の場合は、まず地区組織へ通知し、通知を受けた地区組織は都道府県連盟へ、同様に都道府県連盟は日本連盟へと順次通知してください。保険会社へは、日本連盟から通知します。事故通知が遅れると、保険金が支払われない場合がありますので注意してください。

(2) 事故通知の内容

団名/主催者の氏名、住所、連絡先(電話番号)/事故発生日、時間/事故発生場所/被害者(負傷者)の氏名、年齢、学校(有職者の場合は職業)/行事内容/事故の発生状況、原因/負傷の部位、程度/治療の状況、入院・通院の病院名と連絡先(電話番号)、担当医師名、治療の見込み/その他、参考事項

(3) その後の措置

事故通知を受けた保険会社は、事故発生場所を管轄するサービスセンター等を通じて事故に関する事項を調査します。

賠償責任保険 Q&A

Q 日本連盟に登録している指導者であることが条件なのでしょう。たとえば、カブ隊の舎営に付き添いを依頼した保護者の責任で事故が起きたとき、保険の対象になるのでしょうか。

A 特約書 第1条第3項
賠償責任保険の被保険者とは、①指導者および②引率したスカウトの保護者の場合は、行事計画書に明記された「指導者」をいいます。つまり、付き添いを依頼していることがきちんと明示されていれば、保険の対象になるということです。

Q 集合地から解散地までが保険の対象となりますが、現地集合・解散の場合、隊として指導者が引率して、まとまって参加した場合でも、往復の区間は対象外となりますか。

A 特約書 第3条
大会等に参加するため、指定された集合地に集合したときから、解散地において解散するまでの間、指導者が引率している場合は対象となります。たとえば、ベンチャースカウト大会に参加するため、福岡のスカウトが博多駅に集合し、博多駅で解散するケースでは出発から帰着までの間、指導者が引率していれば保険の対象となります。スカウトの自宅までの間は対象外です。

Q 「野外活動計画書」等を事前に提出していないと保険は支払われないそうですが…。

A 計画された活動であったかどうかは問題です。
事前の「行動計画書」の作成をお願いしています。スカウトが偶然集まって集合行動をとる等、私的な集まりには適用されません。必ずしも事前の行動計画書の作成までは要求されませんが、やはり活動計画書はきちんと作成しておく方がベターです。

事故の3要因と安全の3原則

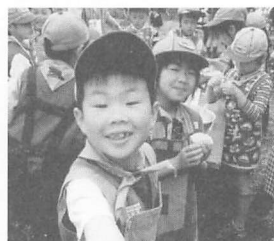
■事故が起きるには次のような要因がある。

- ① 不適切な行動や判断、服装等による《人的要因》
- ② 使っているものや乗り物の不備等による《物的要因》
- ③ 自然や社会の変化による《環境的要因》

■安全を確保するための守るべきこと。

- ① ルールを守る《規範・道徳の原則》
- ② 当然予想される危険を予防する《先取優位の原則》
- ③ 思いがけず発生する危険に対処できる《自守の原則》

春から夏へ、野外活動が最も盛んになるシーズンです。事故などのないよう計画を十分チェックし、また活動時も安全に常に気を配るのが指導者の努めです。万一に備える各種の保険。これは単にダメージを補うためのものではなく、安心感を得ることで一層の予防安全行動に寄与するという、むしろポジティブな働きを持つものでもあります。活動をより楽しく充実したものにすべく、保険類の加入の確認をお願いします。



～自己流にならないように～ (いつも手本を側に置いて)

金光教スカウト協議会副理事長 萬野 信一

“自己流にならないように”との言葉は、私たち指導者が廣瀬さん(東京・杉並第3団前団委員長。昨年11月10日没)から、よく賜った言葉です。廣瀬さんご自身、佐野常羽先生(1924年スカウト教育を研究する目的で渡英。時間をかけて直接B-Pの指導を受け、それを日本に伝えた最初の人)を敬慕し、少年時代から青年時代に先生と接する中で、感じとったもの、教えてもらったことを自らが実践することに心掛けられていました。

それは、キャンプ生活から日頃の生活に至るまで、いろいろな場面で実施されるものでした。キャンプでは、食事の準備をします。食事ができてテーブルの上に並ぶと同時に、調理に使った道具が、次の食事のためにスタンバイされている。すなわち、きちんと洗い終わって格納されていることを好まれました。チョットした工夫の跡でも、それを見つけては大変喜ばれました。

また、日頃の生活では、お客さんを招くとき主人がどの席に座り、お客様はどの席に、どの順番に座っていただくのが失礼にならないとか、畳の上では、畳の縁を踏まないようにいつも等間隔で歩けるように練習しておいた方がよい等々、その場その場、行く先々での生きた教えは尽きることがありませんでした。もちろん、佐野先生の教え“スカウティングは、Activity First。実行が第一だ”は、常の言葉でした。佐野先生はこうして教えてくださったという言葉がいつも話の前後についていました。ご一緒する時は緊張もしましたが、楽しかったことが思い出されます。実践されるその姿は、周りの人々に自分もスカウトになりたいとの思いを起こさせ、今尚、お慕いする人が多いのも当然のことと納得できるのです。

私は、先だって、若いリーダーに佐野先生の話をしました。私自身が無意識のうちに、廣瀬さんの口調で、それも話す癖までどこか似せて、佐野先生を語っていたことにハッとさせられました。廣瀬さんが、何度も繰り返し話をしてくださっ

た佐野先生が、私を介してそのリーダーの前に出た瞬間だったのです。私は、そのことが大変嬉しく感じられました。

私は、こう思うのです。何度でも、繰り返し聞いたこと、体験したことは、自分のものとなり、そのうちに自分から滲み出てくると。故人の教えがそこに再び現れることによって、その教えが再び生きて働くことになる。

私たちは、日々、神様(仏様)に手を合わせ、心を神様(仏様)に向け、お祈りをいたします。しかし、信仰というものは、祈るだけでは道半ばではないかと考えます。

私(自分)を通して神様(仏様)が、私(自分の行い)に現れてくることが肝心であると思うのです。日常生活の中に神様(仏様)が現れてくることが、宗教の目指すところであろうとも思うのです。

それには、自己流にならないように、お手本を側に置いて、信仰でいえば、神様(仏様)の教えをお手本にして側に置いて、真似る稽古をして行くことが大切だと考えるのです。自分というものが手本と違っていれば、自分を改めていく。それが、本物の道を歩むことになると思うからです。

おすすめの冊



- ・20世紀日本の偉大なる魂の潮流
- ・21世紀を元気に生きる指針
- ・実録・「生きた宗教」への招待として、ぜひ参考にしてください本です。

「一心 金光教の教えとその時代」
佐々木直著
出版 (財)金光教徒社
定価 2,310円(税込)

技能章「救急章」および「看護章」の考査細目変更について

(教育規定「12-20.技能章課目」の施行細則「12-20-2」の変更)

11月に開催された教育本部会議において、以下の通り教育規定改正が承認されましたのでお知らせします。

＜改正の趣旨＞ 教育規定「12-20.技能章課目」の施行細則「12-20-2」中、「3.救急章」、および「9.看護章」の考査細目について、心肺蘇生法などの世界的な動向から、ボーイスカウト救急法講習会細目を次の通り改正します。

＜改正施行日＞ 平成18年4月1日(1年間の移行措置を設け、現行規定は平成19年3月31日まで有効とする。)

技能章課目「3.救急章」考査細目

現行規定	改正規定	改正の理由
(1) ボーイスカウト救急法講習会、または、日本赤十字社の行う救急法救急員養成講習会を終了する。	(1) ボーイスカウト救急法講習会を修了する。 ただし、次の講習の場合では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの講習会で履修できなかった細目については、別途考査を受け、合格すること。 ア 日本赤十字社の行う救急法講習会(救急員養成講習18時間、満15歳以上)の修了者は、ボーイスカウト救急法講習会細目の1. から12. までも履修したものとみなす。 イ 消防署で行なわれる普通救命講習Ⅱ(4時間)の修了者はボーイスカウト救急法講習会細目の1. 2. 3. 13. を、上級救命講習(8時間)の修了者は同細目の1. 2. 3. 9. 12. 13. を履修したものとみなす。	最近では各隊、団、地区、県連盟等では日本赤十字社や消防署等による救急法講習会が広く利用されている。しかしながら、講習会の内容によってはボーイスカウト救急法講習会細目のすべてを履修しているのではないため、実施されない細目については、別途履修すべき内容を明らかにした。 ボーイスカウト救急法講習会細目について、最近の心肺蘇生法の動向やボーイスカウト救急法の位置付けの再確認を行い、内容を修正し、本細目の参考として講習会細目を示す。
(2) 電話で救急車を要請する時の通話の仕方を実演するか、説明できる。	＜削除＞	ボーイスカウト救急法講習会細目へ移動。
(3) 隊の救急箱を整備するとともに、キャンプでの救護係を通算3日以上担当した経験を有すること。	(2) 隊の救急箱を整備し(未整備品、充足・不足物品のリストアップを含む)、そのチェックリストを提出する。 (3) 県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し、その報告書を提出する。	救急箱の内容を把握し、使用できることが大切なことから、整備内容をより具体的にするとともに、細目を分けた。 救護所における医療従事者による指導を受けられることを期待し新設。また、救急法の大切さを認識させるために救護係の担当をデイキャンプも含めて最低5日とし、ただ救護係を担当するだけではなく、応急手当を行った実践経験を優先する。

※以下は技能章細目(教育規定)ではありませんが、救急章考査細目に関連性があるため「参考」として規定条文に付加しています(改正後の規定のみ紹介)。「ボーイスカウト救急法講習会」については、今後、安全委員会にて講習会資料の整備などを行いながら、細目についても継続して評価を行います。

＜参考＞ボーイスカウト救急法講習会細目

- 救急法の基本 次のことについて説明できる。(1)救急法の意義 (2)傷病者の観察 (3)応急手当の流れ
- 心肺蘇生法 (1)心肺蘇生法の手順を説明できる。(2)気道内異物除去の意義を説明し、正しく実演できる
(3)気道確保の意義を説明し、正しく実演できる。(4)人工呼吸法の意義を説明し、マウス・ツー・マウスによる呼吸吹き込み法を正しく実演できる。(5)心臓マッサージの意義を説明し、正しく実演できる。
- 止血法 出血の場合の、直接圧迫止血法、止血帯法の説明ができ、上腕および大腿の出血において、出血の状態に適した止血法がそれぞれ実演できる。
- ショック ショック状態の徴候と、予防のための手当てを説明できる。
- 食中毒 食中毒について説明し、その予防と手当ての方法を説明できる。
- 一酸化炭素中毒 一酸化炭素中毒を説明し、その予防と回避する方法を実演できる。
- 熱中症 熱中症の種類とその予防、応急手当てを説明し、実演できる。
- 頭部外傷 頭部打撲時の症状と注意事項を説明できる。
- 骨折、捻挫 次の部位の骨折、捻挫、打撲に対し身近な道具を用い、創意と工夫で正しい応急手当てができる。
(1)鎖骨 (2)上腕 (3)前腕 (4)大腿骨 (5)下腿 (6)人さし指 (7)手首・足首の捻挫 (8)四肢の打撲
- きず等 (1)きずの種類と応急手当てについての一般的注意事項を説明できる。
(2)日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当てができる。
ア. 鼻血 イ. 目のちり ウ. やけど エ. 指の切りきず オ. 立ちくらみ カ. 腹痛
- 動・植物による被害 以下の生物による被害の予防と応急手当てを説明できる。
(1)スズメバチ刺傷 (2)毒ヘビ咬傷 (3)イヌ咬傷 (4)ムカデ咬傷 (5)ウルシ接触性皮膚炎
- 搬送法 傷病者を搬送する方法を一人法で3通り、二人法で2通り、三人法で1通りが実演できる。
また、急造担架を作り、担架で運ぶ時の注意を説明し、その担架で実際に運ぶことができる。
- 救急要請 電話で救急車を要請する時の必要事項を説明し、通報を実演する。

技能章課目「9.看護章」考査細目

現行規定	改正案	改正の理由
(1) ボーイスカウト看護法講習会、もしくはそれに準ずる看護法講習会を修了して考査に合格すること。	<現行の通り>	
(2) 活動中に発生した次のような場合の看護について説明ができる。 ア 悪寒 イ 発熱 ウ 腹痛 エ 便秘 オ 下痢 カ 頭痛 キ 乗物酔い	<現行の通り>	
(3) キャンプで救護係を通算3日以上担当した経験を有すること。(救急章と共通課目)	(3) 隊の救急箱を整備し(未整備品、充足・不足物品のリストアップを含む)、そのチェックリストを提出する。(救急章と共通細目)	「救急法」考査細目の変更により、内容を揃え、順番を入れ替えた。
(4) 隊の救急箱を整備点検し、使用。(救急章と共通課目)	(4) 県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し、その報告書を提出する。(救急章と共通細目)	「救急法」考査細目の変更により、内容を揃え、順番を入れ替えた。

※以下は技能章細目（教育規定）ではありませんが、看護章考査細目に関連性があるため「参考」として規定条文に付加しています（現行の通り）。

<参考> ボーイスカウト看護法講習会細目

1.家庭に病人がでたときの看護

(1)手を洗う (2)エプロンをつける (3)汚物の始末 (4)病気の兆候の見方 (5)体温の測り方 (6)のどの見方 (7)記録の仕方

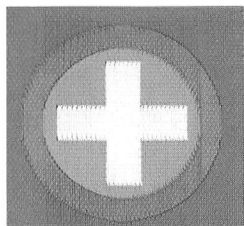
2.病人を楽に寝かせる (1)病人の動かし方 (2)寝室寝具の条件 (3)看護者の注意 (4)寝床の作り方 (5)排泄の世話

3.病人の体をきれいに、身じまいよく寝かせる (1)体のふき方、寝間着の換え方、シーツの換え方 (2)口の清潔 (3)髪の手入れ

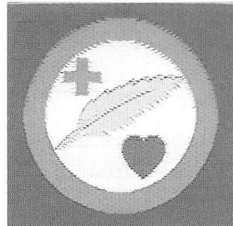
4.病人の薬と食事 (1)病人の食事について (2)食事の進め方 (3)家庭の常備薬 (4)薬について

5.手当の仕方 (1)流腸 (2)湯たんぽ (3)蒸気吸入 (4)温湿布 (5)氷まくら、氷のう

6.感染症について



救急章



看護章

●今回の改正に関連して ～救急法の重要性について

今回の技能章「救急章」「看護章」考査細目の改正、およびそれに関連する救急法講習会の細目の改正は主に、日本赤十字社、消防署、自衛隊等救急法の講習に携わる多くの団体、機関が取り入れているAHA（米国心臓協会）のガイドライン2000に対応したものです。

野外活動での傷病発生時に指導者が応急手当を習得していなければ「安心」「信頼」の保証がありません。また適切な手当てを施したか否かが、団・隊としての責任問題にも関わってくることもあるかもしれません。隊員たちに「救急章」の取得を促すばかりではなく、指導者自身も応急手当てを習得しておく必要があります。

現在の技能章の制度では、「救急章」においても一度取得すればそれでOKとなっていますが、医療は日進月歩しており、それがフィードバックされる一般の応急手当てでもそのレベルに応じてそれに追随していくことが望まれます。

また、一度マスターした技能も、日頃よりトレーニングをしていなければ確実に忘れてしまいます。これは人命や後遺障害にも関わってくることで、「救急章」を取得した隊員も、また指導者も同様、社会に役立つために少なくとも2年に一度は講習を受け、リフレッシュするようにしたいものです（ちなみに赤十字救急法では有効期限を3年、消防署救命講習では2から3年間隔での定期的な再講習を行うこと、と設定しています）。

「日本のボーイスカウトは全員応急手当てができる」というのはすばらしいことではないでしょうか。

安全委員会委員長 豊秀 昌彦

INFORMATION

FEBRUARY 2006

日本連盟からのお知らせ

■中央名誉会議(第2回)の開催(報告)

日時: 12月3日(土) 13:00~17:00
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 鈴木中央名誉会議議長他10人
協議事項: 1. 日本連盟感謝・表彰規程について
2. 日本連盟感謝・表彰規程細則について
3. 中央名誉会議審査基準(改定案)について
4. スカウティング褒章について
5. 県連特別有功章について
6. 全国大会表彰式について

■ボーイスカウト振興国会議員連盟総会の開催(報告)

日時: 12月7日(水) 8:35~9:00
場所: 東京・キャピトル東急ホテル
出席: 斉藤斗志二副会長・事務総長、逢沢一郎、井上喜一、堀谷立、菅義偉、田野瀬良太郎、竹下巨、竹本直一、谷本龍哉、津島雄二、中野正志、三ツ林隆志、森英介、森山眞弓、山口泰明、伴野豊 各衆議院議員、河合常則、竹山裕、中曾根弘文、谷博之 各参議院議員(本人出席20人、名簿順) 代理 48人(議員名省略)
参席: <文部科学省> 素川スポーツ・青少年局長他3人
<ボーイスカウト日本連盟> 佐波理事長他7人
議事: 1. 開会挨拶 斉藤斗志二副会長
2. 財団法人ボーイスカウト日本連盟あいさつ 佐波正一理事長
3. 表彰 功労章「たか章」が菅義偉先生、田野瀬良太郎先生、山口泰明先生に贈呈されました。
4. ボーイスカウト振興国会議員連盟役員の選任について 会長には斉藤斗志二先生が選ばれました。その他の役員については、選任中です。
5. ボーイスカウト日本連盟平成18年度主要事業について 他

■財務委員会(第3回)の開催(報告)

日時: 12月9日(金) 14:00~16:00
場所: 東京・ソニー株式会社
出席: 橋本委員長他4人
協議事項: 1. 平成17年度決算見込みについて
2. 平成18年度収支予算について
3. 資金活動の活性化について
4. 国際協力資金運用委員会との一本化による財務委員会の新役割について

■第14回日本ジャンボリー実行委員会(第7回)の開催(報告)

日時: 12月10日(土) 13:00~16:45
場所: 東京・金刀比羅宮東京分社
出席: 西村委員長他23人、代理1人、参席2人
協議事項: 1. 会場の利用計画について
2. 参加隊・奉仕隊の配置について

3. 各専門部会からの調整事項について
4. 各SCからの質問・要望事項について
5. 今後の予定について 他

■21WSJ派遣実行委員会の開催(報告)

日時: 12月17日(土) 13:00~17:00
場所: 東京・金刀比羅宮東京分社
出席: 檀上委員長他7人
協議事項: 1. 派遣団の編成について
2. 派遣員の募集人員・県連盟スカウト割当人数について
3. 指導者の応募資格について
4. 募集期間と参加費の送金について
5. 派遣日程について
6. 派遣予算について
7. 派遣員募集要項について
8. 派遣団長会議(イギリス開催)について
9. 今後の準備予定について

■スカウト運動推進委員会(第11回)の開催について(報告)

日時: 12月18日(日) 10:00~12:00
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席: 上島委員他委員4人
協議事項: 1. 「スカウト運動推進に関する検討課題」の最終確認について
2. 理事会担当のスカウト運動推進に関する検討課題の進め方について
3. その他

■12月教育本部常任会議の開催(報告)

日時: 12月18日(日) 13:00~17:00
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席: 伊藤教育本部コミッショナー他10人、参席1人
承認事項: 1. 加盟登録における教育規定の改正について
協議事項: 1. 平成17年度各委員会、上半期事業の評価について
2. スカウト運動推進委員会の検討課題について
3. 平成18年度教育本部関連の事業計画、予算について
4. 平成18年度全国大会の実施内容について
5. 各委員会からの調整事項について 他

■世界スカウト運動100周年記念事業推進委員会(第11回)の開催(報告)

日時: 12月20日(火) 18:00~20:00
場所: 東京・八重洲倶楽部
出席: 上島委員長他4人
協議事項: 1. 富士チャレンジキャンプ
2. B・P未翻訳書籍の発刊について
3. ブラウンシー島実験キャンプ脚本の提供
4. 日本ボーイスカウト探訪100選
5. ギフト・フォー・ピース
6. 21WSJ
7. 記念レセプション 他

■第22回APRスカウト会議実行委員会の開催について(報告)

日時: 12月21日(水) 17:30~19:30
場所: 東京・八重洲倶楽部
出席: 橋本委員長他12人
協議事項: 1. 実行委員会のAPR提示に基づく役割分担について
2. 会議テーマとロゴ・マスコットについて

3. 準備事項への対応について
4. 第5回APRスカウトフォーラムについて
5. APR主催CLT(リーダートレーナーコース)について
6. 会議予算(概算)について
7. 今後の準備予定・各地でのプロモーションについて

◎ 訃報

長年のスカウト運動へのご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りします。

廣瀬 文一 日本連盟相談役・東京連盟顧問
平成17年11月10日逝去 91歳
根岸真太郎 日本連盟相談役・千葉県連盟顧問
平成17年12月18日逝去 95歳

■お詫びと訂正

スカウティング1月号13頁に以下の通り誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。

21WSJ派遣実行委員会構成員について

(誤) 委員: 龍本高志(奈良/近畿ブロック 選出も兼ねる)
(正) 委員: 龍本高志(奈良)
(追加) ブロック選出委員: 宮本智喜(近畿ブロック/大阪)

ご支援ありがとうございます

* 維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

2005年11月度

【北海道】 (医) 尚仁会 西町内科クリニック 三浦 武 藤田 一男 角玄 泰雄	【石川】 清水 武敏 畑中 勝三 【長野】 黒木 健一 小池 幸夫	【岡山】 山口 富二雄 小林 亙 板野 元次 高崎 式子
【青森】 佐藤 正 【宮城】 井藤 晃 【秋田】 清水 順義 成田 譲 小玉 武	【岐阜】 若園 輝夫 三輪 常夫 BS美濃加茂3 BS美濃加茂1 【愛知】 斎藤 公一 山村 徹 旭 正金 足立 武 新美 逸夫 平沢 達也 伊藤 澄雄	【広島】 松本 計一 【山口】 岸村 正昭 【徳島】 長崎 亀四郎 【愛媛】 竹田 耕三 BS松山地区振興会 久徳 美和子 【高知】 黒瀬 渡 【福岡】 石川 暢洋 吉木 昭弘 平田 珠子
【千葉】 織田 一雄 本部 三枝子 田岡 邦子 BS市原1 【神奈川】 矢島 巖 今井 田津子 湘南需品部 大和倉庫(株)	【京都】 篠田 常生 吉川 敬一 BS京都14 中村 安正 【兵庫】 吉井 睦郎 橋本 浅男 松栄 徹 南 秀生	【佐賀】 梅田 英二 峯 好一 【長崎】 道向 豊 甲斐 真良 大竹山 栄子 秋田 浩 【鹿児島】 末永 忍 【日本】 (株)宝生堂 石川島播磨重工業(株) 丸山 宏 河合 武夫 今田 忠信 小倉 久信
【東京】 塩崎 親宏 奥村 勝利 河野 吏 森谷 治男	【奈良】 金谷 行雄 原田 勝次 【大阪】 BS大阪27育成会 BS和泉2育成会 菊地 邦友 【富山】 荒木 甚一	【鳥取】 木下 力夫

ローカルホットライン

□.....団
 ⊠.....地区
 ■.....都道府県連盟
 ◇.....その他

HOT CALINE

行事報告
 活動報告
 …etc

団・地区・都道府県連盟だより

滋賀

田ンボリー開催報告

蒲生第2団 ビーバー隊副長 北川 幸八

去る2005年9月24・25日の両日ボーイスカウト蒲生第2団恒例のジャンボリーならぬ田ンボリーを行いました。

場所は安土町大中のボーイ隊副長の小山氏の9000坪の広大な田んぼをお借りしました。



今年はいにくと、両日とも台風なみの(実際関東地方は台風17号が襲っていました)強風が吹き

荒れ、ドームテントの骨は折れるは、タープテントはベグごと引き抜かれるはで散々な天候でした。しかし、雨が降らなかったのが唯一幸いでした。

24日開村式の後、スカウトたちは期間中に使う食器と箸など、孟宗竹から切り出した各自思いの器で、夕食をいただきました。

強風の吹き荒れる中、徳永団委員長の強い意志で営火を行いました。着火にはサッカーさながらの人壁を作り、悪戦苦闘の末、消火用水を抱えての開催となりました。

結果、一番盛り上がりっていたのは、やっぱり団委員長でした。



カブ隊は大人たちが強風で震え上がっているのを尻目に半袖・半ズボンで頑張っていました。

いつも元気なカブ隊に比べて元気がないのがボーイとベンチャー。参加者が少なかったことも影響してか、営火から離れてただ、見守りだけの我らのボーイとベンチャー。頑張れ。

2日目の26日は、新規スカウトの入団勧誘と、障害者の方たちとのふれあいのために、一般の方や安土町社会福祉協議会の方たちに案内したところ、20人程度の参加申し込みがありました。

徳永師匠(団委員長)による手打ちうどん道場、初級オープンでのパンや芋を焼いた料理に参加された方や、スカウトたちも楽しく食事をしました。



強風の中参加していただいた方には感謝しております。

風と戦いながら楽しく過ごした2日間はあっという間に終わり、国旗降納、閉村式となりました。1人の怪我人も脱落者もなく、すべてのプログラムを無事終了しました。来年また、ここで開催できることを胸に誓って解散。

愛知

中日新聞 (2005.8.22)

中日新聞に載りました!

武豊第2団 ベンチャー隊副長 森田 郁子

「ヤッター」スカウトたちはゴール前で到着を待っていた隊長とハイタッチをして成功を喜んだ。

武豊第2団ベンチャー隊はサイクリングを伝統的に活動の一部として続けてきました。

今年度は先輩スカウトを乗り越えたいという思いから、初めて1000km走破を目指して4月から企画、計画してきました。学校行事、クラブ活動、アルバイト等、皆が一堂に集まって行動することがなかなかできず、リーダーサイドとしてはやきもきした時期もありました。しかし「やりたい、行きたい」という強い信念を持ってがんばってくれました。

新聞のコメントにもある通り、北海道の大自然にふれ、人々の暖かさを感じ、仲間とのきずなを確信した旅だったと思います。

自分たちの努力もありましたが、友団として釧路第6団白浜隊長をはじめ、リーダー・スカウト皆様の励まし、ご協力を得たことも完走できた一因だと思います。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

この体験を基に、これからの彼らの活動に期待していききたいと思います。

北海道横断のサイクリング旅行に出ていた、ボーイスカウト知多南地区武豊第2団ベンチャー隊の高校生4人が21日、フェリーで名古屋に戻り、武豊町に無事帰郷した。12月13日、全長1000kmに及ぶ行程では、厳しい峠越えや転倒事故もあったが、北国の動物や住人との温かいふれあいが経験。4人は、真っ黒に日焼けした顔で「疲れたけど充実した旅だった」と振り返った。(中村 雄弥)



北海道サイクリング旅行を終えて、笑顔をみせるボーイスカウト知多南地区武豊第2団ベンチャー隊の高校生4人(左から)

北海道サイクリング旅行
仲間と1000km走破

武豊第2団 高校生4人帰郷

参加したのは、武豊町立武豊中学校 2年 森田 郁子(みずのぼり)と、同校 2年 中村 雄弥(なかつら)の2人。この2人は、今年4月から、全長1000kmに及ぶ行程で、北海道を縦断するサイクリング旅行に出かけた。4人は、北海道の大自然にふれ、人々の暖かさを感じ、仲間とのきずなを確信した旅だった。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

パキスタン大地震災害への支援活動 ～テント寄贈

昨年10月のパキスタン大地震災害への支援活動の一端として、日本連盟が災害義援金の募金に加え、パキスタンスカウト連盟にテント50張を寄贈する件について12月号の20頁でお知らせしました。その後の経過を報告します。

テントは昨年11月21日に那須野営場から搬出され、パキスタン航空の輸送支援を受けて、12月2日日本を発。現在はイスラマバード空港にあるパキスタン空軍基地に置かれたパキスタン首相官邸下の地震救援物資センター(Earthquake Relief Centre)に運び込まれ、近くパキスタン・スカウト連盟に引き渡されます。

12月20日、東京・港区元麻布のパキスタン大使官邸において、上島常務理事と岩崎国際委員がカムラン・ニアズ駐日パキスタン大使と面会。テント寄贈の概要報告を上島常務理事が行い、また贈呈したテントの写真などの資料を岩崎委員が大使に手渡したのち、大使から現在の被災地の状況などを詳しく伺い、「少しでも多くの被災者が救われる貴重なテント支援に感謝します」とのコメントをいただきました。

最後に岩崎委員から「2007年に世界のスカウト運動創始100周年を祝って英国で開催される世界スカウトジャンボリーで1人でも多くのパキスタンのスカウト仲間とお会いできることを願っています」と復興へのエールが贈られ、歓談を終えました。



航空貨物として送られる50張の指導者テント



左より、岩崎国際委員、上島常務理事、カムラン・ニアズ駐日パキスタン大使

滋賀

■ 滋賀連盟のJOTA JOTI

ボーイスカウト、指導者総勢41人がJOTIに参加しました
地元の滋賀大学の情報演習室で一人1台のコンピューターで
大津第15団 ボーイ隊長 山本 明夫

滋賀連盟では地元の滋賀大学教育実践総合センター宮田研究室の後援により、滋賀大学情報演習室でスカウトがJOTIに参加することができました。滋賀大学の宮田教授はカブスカウトからローバースカウトまで京都第28団で活躍されていたという経歴の持ち主であり、地元の社会教育活動に貢献できる大学でありたいと、大変ご多忙の中、時間を割いてスカウトのためにJOTIにお力添えをいただきました。先の愛知万博でも携帯電話データベースによるバビリオン展示評価プロジェクトで成果をあげられました。

滋賀大学の情報演習室は大変すばらしく、大型スクリーンによるデモで上進したばかりのスカウトもネチケットなどの注意を聞いた上で、宮田先生、羽田隊長はじめ和佐隊長、脇嶋副長らの指導を受けながら、参加しました。



□ 大津第21団のボーイ、ベンチャーはJOTAに参加し、各地のスカウトと交信
大津第21団 ベンチャー隊副長 湯 昌美

大津第21団の活動拠点である大津市建部大社にあるスカウトハウスでスカウト、指導者18人が日本各地のスカウトと交信することができ、「来年の第14回日本ジャンボリーで会おう」という約束をしました。JOTAを通して、お互いの友情を深め、世界に仲間がいるという共感とまた、「お互い富士章を目指して頑張ろう」と目標も新たにしました。



大阪

大阪日日新聞(2005.9.20)

□ なにわ地区 TV毎日放送、読売TV
のお昼のニュースで紹介されました。

大阪のメインストリート・御堂筋の清掃活動に、なにわ地区委員会(福田雅之地区委員長)が参加した。

御堂筋すつきり ボーイスカウト大阪・ なにわ地区委清掃活動



御堂筋沿いを清掃する参加者

のメンバー約百五十人が十九日、梅田から難波にかけての同筋沿いで清掃活動を行った。参加者はゴミ袋を片手に吸い殻などを拾い、まちへの美化意識を高めた。

ボーイスカウト日本連盟の敬老の日を「スカウトの日」として、地域貢献事業を実施。同委員会による同筋の清掃は、昨年に続き二回目。

参加者は八グループに分かれ、イチヨウ並木や植込みなどに捨てられているゴミを拾って歩いた。ゴミは三十センチほどのゴミ袋に約七十袋分集まった。

同委員会の伊東徹二行事委員長は「子どもたちと一緒に、まちをきれいにするというのが私たちの責任。これからも頑張りたい」と話していた。

京都

□ 京都第50団 団委員長 林 弘

昨夏「第10回本願寺派スカウト海外派遣」に当団ボーイ隊平知也君が参加し、その感想を当団の上進式で発表してくれました。

派遣スカウトとして、シアトルに行ってきました。この派遣で、もっとも不安だったのは、言葉よりもシアトルでアメリカの友だちができるかどうかでした。しかし、実際に行ってみるとアメリカの方々やさしく接してくれたので非常にうれしかったです。観光では本来の目的である各仏教会の訪問をしました。予想以上に信仰が厚かったですが、中でもホワイトリバー仏教会では、英語表記の念仏を唱えていたので他のところ以上に信仰が厚かったと思います。

他にもワシントン大学やマリナーズ観戦などをしましたが、一番印象に残ったのはやはり、日米合同キャンプでした。

キャンプでは、日本のように自分で食事を作らず、20代前後の人たちが調理場に立ち3食すべて作ってくれるのでとても楽でした。

しかも、とてもきれいなトイレやシャワールームまでついていました。

スカウトとは、自分とあまり年が変わらなかったのが気軽に話すことができました。

夜間にはキャンプファイアでアブラハムをやり、向こうのスカウトも楽しんでくれました。

また、夜の12時ぐらいまでポーカーをし、より一層友情が深まったと思います。

今では、アメリカで仲良くなったジェイソン君とEメールのやり取りをし、お互いの友だちや家族のことを話したりしています。

このような機会があれば友だちの輪を世界中に広げていきたいです。

今回の様子がノースアメリカンポストという新聞で紹介されました。

そして、私は、今回の派遣によりアメリカ北西部では一躍有名になったかもしれません。

この経験を存分に生かし今後のスカウト活動に役立てていきたいと思っています。

Japan Hongwanji Scouts Visit

By Vince Matsudaira
The North American Post

Six teenage Scouts and their adult leaders from Jodo Shinshu sponsored troops visited their Nishi Hongwanji counterparts at the Seattle Betsuin Buddhist Church, during a visit to the Seattle area last week. The scouts, from various cities in Japan, were total strangers before boarding the plane in Tokyo, according to Fumiko Groves, who organized their stay.

The week-long tour, from July 27 to August 4, included visits to Buddhist temples in Seattle, Auburn, Tacoma and Wapato; the Inaba Produce Farms in Wapato; a trek to Mt. Rainier; blueberry picking in Bellevue; shopping at Bell Square; and, of course, a Seattle Mariners game.

After a breakfast hosted by Seattle Betsuin Buddhist Church cabinet members, the scouts left for Camp Pigot at the foothills of the Cascade Mountains near Monroe, where they joined the scouts of Seattle Buddhist Church Troop 252.

The visiting Boy Scouts were Tomonari Taira and Masaharu Ueda from Kyoto; Kotaro Yagura from Osaka; and Takahiko Okano from Nigata. The Girl Scouts were Satoko Kojima from Fukuoka, and Kurumi Shirota from Yamaguchi. The adult leaders were Rev. Giko Akamatsu and Rev. Shuji Kikuchi from Hongwanji headquarters in Kyoto, and Rev. Masayuki Tachiyama from Shinjuku. Aya Honda, from Osaka, was the scouting coordinator.



Buddhist scouts and leaders pose for a picture during a breakfast hosted by Seattle Betsuin cabinet members.

広島

読売新聞 (2005.10.13)

□ 佐伯第6団 カブ隊隊長 木本 昌和

ボーイスカウトを指導

山田 昭弘副長 (広島市西区)

神村 智英副長 (同市佐伯区)

中村 尚任副長 (同市佐伯区)

木本 昌和隊長 (同市西区)＝左から

ボーイスカウトのカブ隊(小学2～5年生)で子どもたちを指導しています。野外活動や奉仕活動で、子どもたちが自立し、協調性や公共機関などのマナーを身につけ、人間形成できるよう役立ちたいと願っています。活動中にケガ、事故のないよう注意し、一人ひとりの子どもにあった指導を心がけています。



愛知

■ 信仰心への誘い

愛知連盟信仰奨励委員長 大前 須美

第16回愛知連盟野営大会が平成17年8月7日～11日に愛知連盟、新城・吉川野営場にて開催され、いろいろと斬新な企画で運営されました。

そうした中で「信仰プログラム」は、『信仰の森』



で実施されました。予め日時と各宗派による宗教儀礼、スカウトOWNが定められていて、スカウトたち自身のプログラムによってこの『信仰の森』を訪れるよう唆されておりまして。スカウトたちは宗派ごとの宗教儀礼に参加し礼拝を体験、また指導者によるスカウトOWNに耳を傾けて静かな祈りのひとときをもちました。この森を訪れたスカウトたちには各宗派から出していただきました資料と「みことば」をまとめた小冊子を配布。入り口の掲示板にも「みことば」が張り出されていて、その意味をたしかめ合うかのように語り合いながら掲示板の前でスカウトたちは足を止めておりました。

毎日のプログラムに挑戦し、その忙しさの中で『信仰の森』を訪れて得た静かなひとときは、スカウトたち自身にとって自然への畏敬を肌で感じ、信仰心の大切さを実感したことと思います。

野営大会期間中に真の信仰心への誘いがありましたことを嬉しく思います。



付記：『信仰の森』は愛知連盟の新城・吉川野営場の中に平成15年11月に設置されました。この野営場を利用される方々の信仰心への誘いの道しるべとなっております。

読者の「声」

～1月号の記事について～

●表紙

デザインも変わり内容もわかるようになり良かったが、スカウト活動の要素がない写真は疑問。

●新春メッセージ

それぞれの分野で活躍されている方からの目標や抱負が語られ新春らしい頁です。

●全国大会のお知らせ

2泊3日の宿泊費、3日目の各種分科会の内容、発表希望者の募集が書いてあるとさらに良いでしょう。

私は全国大会の参加資格はありませんが、和倉温泉には一度行きたいと思っています。

☑ 全国大会は以前の全国会議と異なり、指導者の方なら原則としてどなたでもご参加いただけます。どうぞ振ってご参加ください。

●2006年の事業スケジュール

国際交流の頁のように写真に説明を入れると様子がある程度わかるのに、と感じました。

●18年度国際交流事業計画

派遣参加には相当にお金がかかることで、裕福な家庭でないと難しいですね。

☑ 一覧表に※印のある事業など、海外派遣貸付金の対象となるものもあります。ぜひご活用ください。

●隊長への手紙

テレビで食べ歩き番組の多い昨今ですが、食事マナーの悪さに驚かされます。これからも「しつけ」の話をお願いします。

●組織拡充

内容は別として、文字ばかりの記事は何となく堅苦しいようにも思われる。

●読者の声

こういうのがあると定期雑誌の雰囲気が出ますね。

●新春弥栄

多くの協賛があり喜ばしいことですが、もっと

多くの地区や団の参加がお願いできればと思います。知っている方が奉仕されていることがわかり、懐かしく思われるのではないのでしょうか。

今さらですが、面白いことに気がつきました。都道府県連盟の名称に「県」を入れているところと入れていないところがあるのです。統一するような方向はあるのでしょうか？

●珠洲への道

参加隊の指導者にとって最適な資料として注目するところです。中でも薪を使つてのキャンプ生活は、正しい刃物の使い方と安全知識が重要であり、昨今のキャンプ技能で不足しているスカウト技能をこの機会にと有効に使えます。

皆さんの声をお寄せください。

目次頁に記載の宛先まで、お葉書、FAX、eメールなど、お気軽に声をお寄せください。「こんな記事が読みたい」などのリクエストも歓迎します。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお、お気軽にご意見いただけるよう、特にご希望がない場合は投稿者名などは掲載しませんが、匿名でのご投稿はお受けしません。☑

広告

『人と自然』をつなぐプロフェッショナルを育成する専門学校！

自然環境学科



山岳プロ学科



トータルフィッシング学科



マウンテンバイク学科



入学願書
受付中

学校説明会、入試説明会毎月各地にて開催中！詳しい資料の請求、申込み・問合せは下記まで！（送料とも無料）



学校法人 新潟総合学院／新潟県認可校

国際アウトドア専門学校

〒949-2219 新潟県妙高市原通70

0120-537-010

TEL 0255-82-4450 FAX 0255-82-4428

URL : <http://www.nsg.gr.jp/i-nac/>

E-mail : i-nac@nsg.gr.jp



ボーイスカウトカード・加入キャンペーン2月から5月末まで開催中!!

スカウティング購読者の皆さん。ボーイスカウトカードをご利用いただいていますか?このカードだけがスカウト活動を財政的に支援できるクレジットカードです。

2月1日から5月末までボーイスカウトカードの加入キャンペーンを実施します。貯まったポイントごとにたくさんのプレゼントを用意いたしました。カードをお持ちの方はこの機会に誌上ショッピングを、まだ会員でない方はぜひご入会ください。

1 新規会員の方にビッグプレゼント

①キャンペーン期間中、新規にカード会員になられた方には**300ポイント**を無償でプレゼントします。(注意:このポイントは景品表示法の規制により日本連盟でのスカウト用品購入だけにご利用いただけます)

②ボーイスカウトカード独自の**ポイントサービス**を開始します。当カードで日本連盟のカードショッピングを利用されると、**ご購入金額1,000円ごとに1ポイント**をプレゼント。**1ポイントにつき10円相当**のプレゼントとお引き換えできます。但し、獲得ポイントは現金とお引き換えはできません。獲得ポイントは2年間貯められます。

③**既会員**の皆様には、2005年1月1日から日本連盟でカードショッピングいただいた金額に応じたポイントをプレゼントします。

④人気の高い**オリコ独自のポイントサービス**、「暮らしスマイル(2005年11月よりオリコ・ポイントバンクが新ポイントサービス、クラスマイルに変更)」サービスもついており、約200の商品と交換できます。

2 キャンペーン期間中、ポイントが倍になるポイント・ダブル・プレゼントを実施中!

キャンペーン期間中、日本連盟でのカードショッピングをご利用いただきますと、前述の通常のサービス・ポイントを2倍にするプレゼントを差し上げます。ご購入金額1,000円ごとに2ポイントをプレゼント!

3 貯めたサービスポイントで好きなプレゼントをお選びいただけます。

次の商品の中からご希望の商品をお選びください。

a **カタログギフト**選ぶのが楽しくなるギフトカタログからお好きな商品をお選びいただけます。→250ポイント以上50ポイントごと

*ファッション、ホビー&カルチャー、ニューライフ、インテリア、リラクゼーション、ニューファミリー、テークアウト、キッチン、グルメなどのジャンルからブランド品も含めた豊富な商品からお選びください。



- b 図書カードプレゼント → 50ポイント以上50ポイントごとに
- c 年会費無料化プレゼント(2年目以降の年会費1,312円・税込) → 132ポイント
- d 商品券プレゼント→500ポイントごとに
- e スカウト用品購入券プレゼント 日本連盟で好きなスカウト用品をご購入いただけます。(注意:都道府県連盟、販売協力店では利用できません)

・ポイントのプレゼントとの引き替え期間:毎年2月1日から3月末の2か月間
・カードショッピングでの獲得ポイント数は6月と12月末締めポイント数をポイントをお持ちの方にお知らせします。

ぜひ、この機会にご入会いただき、スカウト用品だけでなく、日常生活全般でおいしくいただけるカードとしてご利用いただければ幸いです。

入会のお申し込みにつきましてはスカウトカタログについているカード申込書をご利用ください。申込書がない場合や不足の場合はスカウト用品グループBSカード係宛に下記のファックス、eメール、もしくは電話でお申し込みください。

財団法人ボーイスカウト日本連盟スカウト用品グループBSカード係

電話: 0422-31-5167

ファックス: 0422-31-5169

eメールアドレス: scoutshop@scout.or.jp

2月22日は世界友情の日です。B-P関連の商品をラインアップします。

(記載価格は税込価格)

70249	B-P立像	¥10,000
72487	B-P2007ワッペン・緑	¥230
72489	B-P2007ワッペン・青	¥230
79706	フィールドノート	¥210
79568	チーフリングSFB	¥420
79563	SFBピンバッジ No.3	¥210
79714	B-Pチーフリング 革・円筒形	¥315
79717	B-Pチーフリング 革・逆三角形	¥315
79701	B-P肖像画(布製)	¥1,050
70708	B-Pポスター	¥440
79588	B-P絵はがき(4枚組)	¥168
76846	絵はがきB-P(モノクロ1枚)	¥74
74071	SFBクリスタルグラスセット	¥15,750
79726	B-Pピンバッジ	¥210
67201	『絵で見るベーデン・パウエル生涯』	¥483
65151	『スカウティング・フォア・ボーイズ』	¥945
69837	『B-Pの展望』	¥525
65565	『帝国の若き騎士たち』	¥1,200
63274	『ローバーリング・ツウ・サクセス』	¥893
65258	『スカウト運動』	¥893

14NJ記念品

NEW

キャップ2
品番-70507 ¥1,800

キャップの第2弾です。正面には大会マークと14th NIPPON JAMBOREEが、後部にはISHIKAWA SUZUが刺繍された六方キャップ。エンジがアクセントのサンドイッチスタイルのツバの表裏は高級感のあるスエード調。サイズ:59cmまで(後部アジャスター付)素材:六方部分 綿、ツバ部分 ポリエステル

NEW

サファリハット 品番-70521 ¥1,800

ハットの左サイドには大会マークと14th NIPPON JAMBOREE文字の刺繍入り。左右のホックで両サイドが立てられ、焦げ茶色のおご紐がアクセントとなってサファリハットの躍動感を感じさせます。サイズ:59cmまで 素材:コットン、リップストップ

NEW

リストバンド シリコンゴム製 各¥150 サイズ:各径6.4cm

品番-70785 リストバンド 2 ホワイト
品番-70787 リストバンド 3 イエロー
品番-70789 リストバンド 4 レッド
品番-70791 リストバンド 5 グリーン

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ【0422-31-5169 スカウト用品専用】でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

*スカウトカタログ2005-2006等の情報はインターネットでもご覧いただけます。

URL : <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。



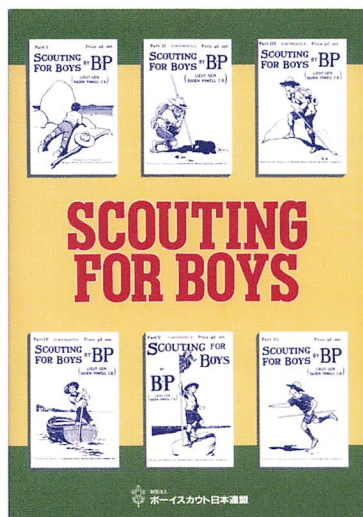
創始者B-Pの平和へのメッセージ

世界スカウト運動創始

今あらためてスカウトに伝えたい創始者の言葉

来年はいよいよ2007年、世界のスカウト運動は100周年を迎えます。この100周年を祝う世界共通の記念標章のデザインには、平和の象徴：鳩が用いられています。

スカウト運動が世界平和を目指すものであることは、この運動の出発点となった本、『スカウティング・フォア・ボーイズ』に書かれたときから変わりありません。2月22日、創始者B-Pの誕生日を祝うために設けられた「世界友情の日」を契機に、改めてB-Pの書いた平和への願いを読み返してみたいと思います。



すべてはここから始まった

『スカウティング・フォア・ボーイズ』

1908年、6分冊で発行された少年たちのための野外訓練教書。この本に書かれた楽しい野外活動を「自分たちでもやってみよう」と、またたくまに世界中にスカウト運動が広がりました。スカウトにとっての必読書であるばかりでなく、B-Pは英国のスカウト連盟機関誌などでたびたび、スカウト指導者にその定期的な再読を奨めています。ともあれ理屈めきに何度読んでも面白い本書。100周年に向けてまた手にとってみたい一冊です。



スカウトは自分の周りにいる人だけの友だちではなく「世界のすべての人の友」だということを忘れてはいけません。友だち同士は戦いはしない。私たちが海を越えた隣国の人たちと友だちになり、相手も私たちに友情をもっていれば、戦争をする必要はないのだ。これこそ、将来の戦争を防ぎ、平和を永続させるための何よりの手段である。

戦争の原因の一つは、各国の人が個人的にはほとんど知り合っていないところへ、政府が戦争をするのが正しいことだと言って聞かせることにある。そうして戦って後になってからみんな後悔する。

もし、平和な時に仲のよい友だちになっていたら、互いに理解しあっていたら、決してけんかになるようなことはないだろう。

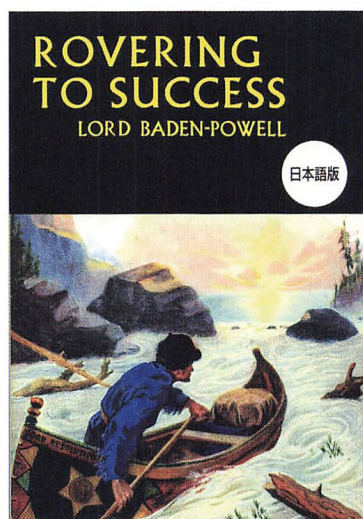
第IX章 公民としての私たちの義務 より



(第一次世界大戦に言及して) 国際連盟と国際裁判所はこのような事件が2度と起らないようにするために、形成された。けれども、連盟も裁判所も法規もその背後の人々の誠意と支持がなかったら、何の役にも立たない。君たちは犬に口輪をはめたり、鎖でつなぐことならできる。けれども、真の平和の確立は彼らが仲良しになり満足するまでは生まれない。問題は犬の口輪ではなく、犬の気質なのである。

そこで各国の市民たちの務めというものは、彼らの歴史や習わしを尊重して相互に訪問しあって、交流を密にし、他の国々への同情の念を深くすることにある。いろいろの国の人々の市民愛によって相互の善意と個人的な友情がいったん、できあがったならば、もうしめたもので、将来のすべての戦争を防ぐ最上の保障となることうけあいである。

第4の暗礁 郭公といかさま師 より

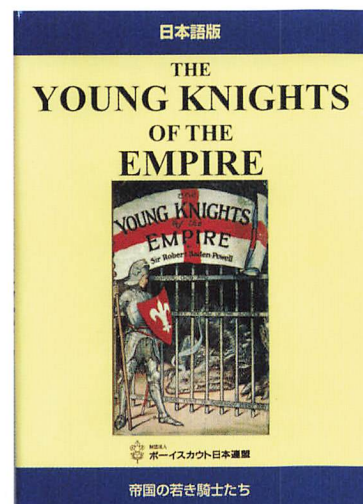


青年たちのための指南書

『ローバーリング・ツウ・サクセス』

1922年に書かれた青年たちに賢明な助言を与える本。『スカウティング・フォア・ボーイズ』のような活動の手引書ではなく、いかに人生を有為に生きるか、というアドバイスを集めたもの。

幸福について、職業について、様々な誘惑をさけるために、よい市民として社会に尽くすこと、など人生の指針を見出すことにつながる楽しいお話が続き、最後にはローバースカウトとして青年期を過ごすための活動の指針も示されています。



『スカウティング・フォア・ボーイズ』を補完するもの

『帝国の若き騎士たち』

1916年に書かれた『スカウティング・フォア・ボーイズ』の方法論を多くの事例で解説する続編。前半は当時の「おきて」についてのB-Pの考えと解説が詳しく書かれ、後半はB-Pの多様な外国旅行記、諸外国のスカウティングの紹介などが続きます。スカウティングの原点、精神、そして創始者B-Pの人物を知るうえでも最適の一冊です。



『絵で見る

ベーデン・パウエル』

B-Pの生涯を多数のイラストでコミック本のように紹介した一冊。昨年2月の改訂でより読みやすく再構成されています。

100周年に向けて

2/22
世界友情の日



B-Pのエッセイを集めた一冊 『B-Pの展望』

1909年から1940年までの間、英国スカウト連盟の指導者用機関誌「スカウター」に寄せられたB-Pの寄稿文を抜粋して集めた一冊。B-Pは指導者訓練機関がスタートした後も、あらゆる場所にいる多くの指導者たちに様々なアイデアを伝えていこうと、この機関誌への寄稿を続けていました。指導者の皆さんにとってスカウト教育の方法論の理解を深めるうえで、大変役立つ一冊となっています。



真の仲間は、お互いの身分などまったく気にしない。

ボーイスカウトのある隊をカナダに連れて行ったときのことだ。旅のあいだじゅう、彼らは二人一組で活動した。ある組のうち、一人は伯爵の息子、もう一人は歩兵連隊の軍曹の息子だった。育ちはまったく違うものの、二人とも少年であり、スカウトであり、何かを鼻にかけることもなかった。二人は親友だった。(中略)

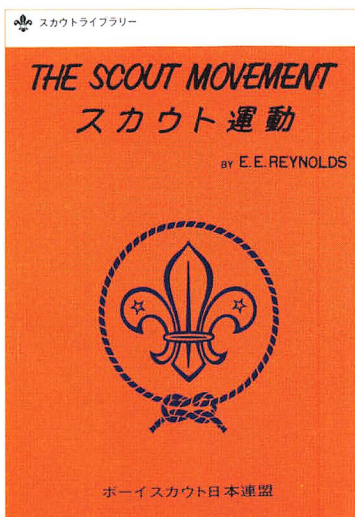
スカウト諸君がこうした精神を常にもち、勉めていくことを願う。特に、スカウトはどんな階級、信条、国籍のスカウトとも友人である、というおきてを今後もしっかりと守ってほしい。このおきてをしっかりと実践すれば、各国のボーイスカウトは互いに真の友人、仲間となり、戦争後、各国の間に真の平和を実現するのに大いに役立つだろう。

おきて4 友情 より



『ベーデン・パウエル 英雄の2つの生涯』

アメリカ連盟のウィリアム・ヒルコート氏と、B-P夫人オレブの共著による、B-Pの生涯を通して見たスカウト運動史。(在庫僅少)



(番外編)スカウト運動の歴史書 『スカウト運動』(E.E.レイノルズ著)

自身も草創期のスカウト運動に携わり、B-Pの公式の伝記の作者でもあるE.E.レイノルズ氏によるスカウト運動の歴史書。この中から、B-Pにとって生前最後の参加となった世界ジャンボリー(第5回)の閉会式で、世界のスカウトたちにB-Pが贈った言葉を紹介します。

※ここで紹介した書籍はいずれもスカウトショップで日本語版が販売されています。



若者たちが、ある論争に自分の判断を下す前に、他人の考えを理解できるよう習慣づける訓練がされていたら、それがやがて大人の男としての性格になっていく苦なのだ!

こうした若者たちは、いまよく見られるような最初の話し手の意見に左右される若者ではなく、反対の意見を持つ人のところへ行き、その言い分も聞き、それからその問題についてよく考えた後、人間として自ら決断するだろう。(中略)

そして国際平和というより重大な問題については軍備の撤廃、条約の締結、代表者たちが集まる平和会議の場を建設するよりも先ずあらゆる国々の青少年たちがどのような事にも絶対的な正義感によって対処できるよう訓練すべきだと思う。人間が一方の味方になろうとする前に、人生で起こるさまざまな出来事に対して物事を両面から公平に見ようとする本能のようなものを身に付けていたら、2国間で危機が起きても、その問題に公平に対処する術を素早く認識し、平和的に解決しようとするのは当然だが、戦争を唯一の解決手段として行使することに慣れている者にはそのようなことはできない。

スカウト運動では、正義と「フェアプレイ」を実際の訓練に導入することで非常に大きなことをなし遂げる力をわれわれは持っている。正義もフェアプレイも野外で行われるゲームや競点と隊ルームでの仲裁、名誉会議、審理、討論などを通して培われる。

1912年6月の寄稿文 より



第5回世界ジャンボリー(1937年8月:オランダ・フォーゲレンザンク)閉会式でのB-Pの言葉

この短い期間に全世界から集まったスカウトたちが、皆、この機会を利用して友情を結んだことを私は喜びます。結局、ジャンボリーの主目的は—自国以外の国々に、できるだけ多くの友を作ることです。(中略)

君たちスカウトは、世界各地から平和の使節として集まり、人種宗教階級の障壁を打ち破って友情を築いてくれます。真に、偉大な十字軍であります。このすぐれた仕事を継続し、一人前の人間となるよう助言します。もし国々の内に争いが起これば、その責任の重荷は君たちが背負わなければなりません。

君たちが友だちであれば、もちろん、争いを欲しないでしょうし、このジャンボリーで固めたような友情を作りだすことによって、平和的解決の道は作られていきます。これは、平和をもたらす上に、全世界に、重大な非常に強い影響力を持っています。だから、ここで、この大会に集うすべての者が、世界のスカウトの間に友情を築くよう全力を尽くすことをちかいます。

第23章 世界のスカウティング より

その価値観が、職人品質。

価値ある品質＝職人品質。

「職人品質」とは、Ogawa全商品に対して、
自信と誇り、そして責任をもって、お客様にご提供する品質。

それは私たちがこれまで培ってきた、
確かな商品力を活かし、お客様の立場に立ち、
製品設計、パーツや素材、製法や加工技術など、あらゆる面にわたり、
検討に検討を重ね商品化された「価値ある品質」なのです。

進化する品質。

新コンセプトのもと、さらに品質性を高めた「ティエラⅡ」、「ヴィアゲイトHG」、「Z-f」、
そして「エスティエロ」などの新商品は、私たちが今日まで商品開発に携わってきた、
ノウハウやお客様からいただいたご意見などをもとに、進化した商品です。

私たちは、テントの老舗メーカーとしてできる
新しい時代に向けた商品開発を積極的に進め、
さまざまな角度からご提案していきます。

欲しいモノを得たときの喜びは、何事にも代えがたいものがあります。
その喜びを生み出すものこそ、本物の「価値ある品質」と私たちは考えます。

「ここがこだわり、職人品質」は小川テントホームページをご覧ください。

www.ogawatent.co.jp



スカウトインダ
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成18年2月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 若山裕司
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)
郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

